

上越市の人口の概況

令和2年12月22日
上越市創造行政研究所

掲 載 項 目	対 象 地 域	対 象 期 間
---------	---------	---------

0.データについて(おことわり)

1.人口	(1) 総人口	5	総人口の推移	全国	上越市	1891-2050
		6	人口増減率	北信越都市圏	上越都市圏	2005→2015
		7	〃		上越市	市内地区別 1965→2015
		8	人口増減		—	市内地区別 1965・2015
		9	年齢3区分人口の推移		上越市	1965-2015
		10	年齢3区分人口の割合		上越市	市内地区別 2015
		11	外国人人口の推移		上越市	2004-2019
2.人口動態	(1) 概況	13	出生・死亡・転入・転出数の推移		上越市	1971-2020
		14	自然動態・社会動態の推移		上越市	1971-2020
		15	人口動態の内訳		上越市	市内地区別 2016-2020
		16	コーホート人口増減率（性別・年齢別）		上越市	2010→2015
		17	人口ピラミッド（性別・年齢別）		上越市	1965・2015
	(2) 転入出	19	転入・転出数の推移		上越市	1971-2020
		20	社会増減率の推移	3大都市圏他	—	1971-2019
		21	社会増減の推移（年齢別）		上越市	1976-2019
		22	〃（転入出先別）		上越市	1976-2019
		23・24	社会増減（性別・年齢別・転入出先別）		上越市	2016-2020
		25	〃（性別・年齢別）		上越市	2011-2020
	(3) 出生	28	出生・死亡数の推移		上越市	1971-2020
		29	粗出生率の推移	全国	上越市	1980-2019
		30	若年女性人口の推移		上越市	1986-2019
		31	合計特殊出生率の推移	全国	上越市	1980-2019
		32	〃（年齢別）	全国	上越市	1980-2019
		33・34	合計特殊出生率の全国分布	全国市町村	上越市	2010-14
		35・36	独身割合の推移（30代）	全国	上越市	1980-2015
		37	〃（30代後半女性・詳細）		上越市	1980-2015
		39・40	配偶関係別人口（性別・年齢別）		上越市	1980・2015
		41	有配偶出生率の推移	全国	上越市	1980-2018

掲 載 項 目		対 象 地 域		対 象 期 間		
(4) 死亡	43	死亡数の推移（年齢別）		上越市	1987-2018	
	44	平均寿命の推移		全国	上越市	1965-2015
	45・46	平均寿命の全国分布		全国 市町村	上越市	2015
	47	死因別死亡数		上越市	1980・2018	
3.将来推計人口	49	出生・死亡数の推移		上越市	2005-2065	
	50	総人口の推移（社人研）		上越市	1975-2045	
	51	〃（人口ビジョン）		上越市	1975-2060	
4.世帯数	53	総世帯数の推移		全国	上越市	1965-2015
	54	家族類型別世帯数の推移		上越市	1985-2015	
	55	家族類型別世帯数（年齢別）		上越市	2015	
	56	家族類型別世帯数の割合		上越市	市内 地区別	2015

5.まとめ

データについて（おことわり）

○ データの出所により若干の違いあり

各種統計はそれぞれ集計方法や時期、定義などが異なっており、値がずれていることがあります（以下は一例）。

この資料の数値を他のデータと見比べる際などにはご注意ください。

・最新値

国勢調査は5年毎に実施されるため、2015年が最新値ですが、推計人口などは2019年が最新値であり、このほか、2018年が最新の調査もあります。

・「年」の定義

国勢調査のデータは10月1日基準であるため、基本的に人口増減の対象期間は前年10月～当年9月としていますが、例えば人口動態調査などは暦年（1月～12月）を対象期間としています。

○ 地域自治区別のデータは、町丁字（住所）単位のデータをもとに集計

実際の地域自治区は行政区（町内会）単位で構成されているため、合併前上越市の一部の区では、実際の値と若干のずれがあります。

1

（参考）人口に関する統計の一例

○ 人口（数）に関するもの

- ・国勢調査（総務省統計局）
- ・住民基本台帳に基づく人口（各市町村）
- ・推計人口（人口推計）（総務省統計局、都道府県）

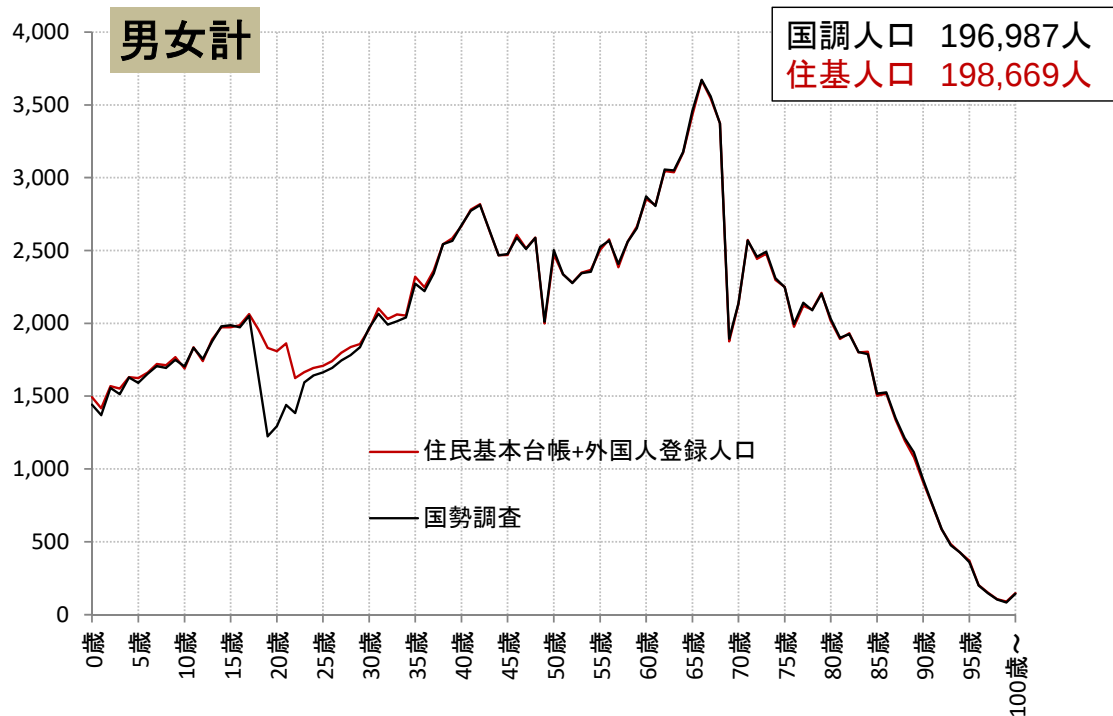
○ 人口の動きに関するもの

- ・人口動態調査（厚生労働省）
- ・新潟県人口移動報告（新潟県）
- ・住民基本台帳移動報告（総務省統計局）
- ・住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（総務省自治行政局）

※ 例えば、同じ住基をもとにした調査でも、総務省統計局のものと総務省自治行政局のものは数値が異なる。

2

(参考) データによる人口の違い (2015)



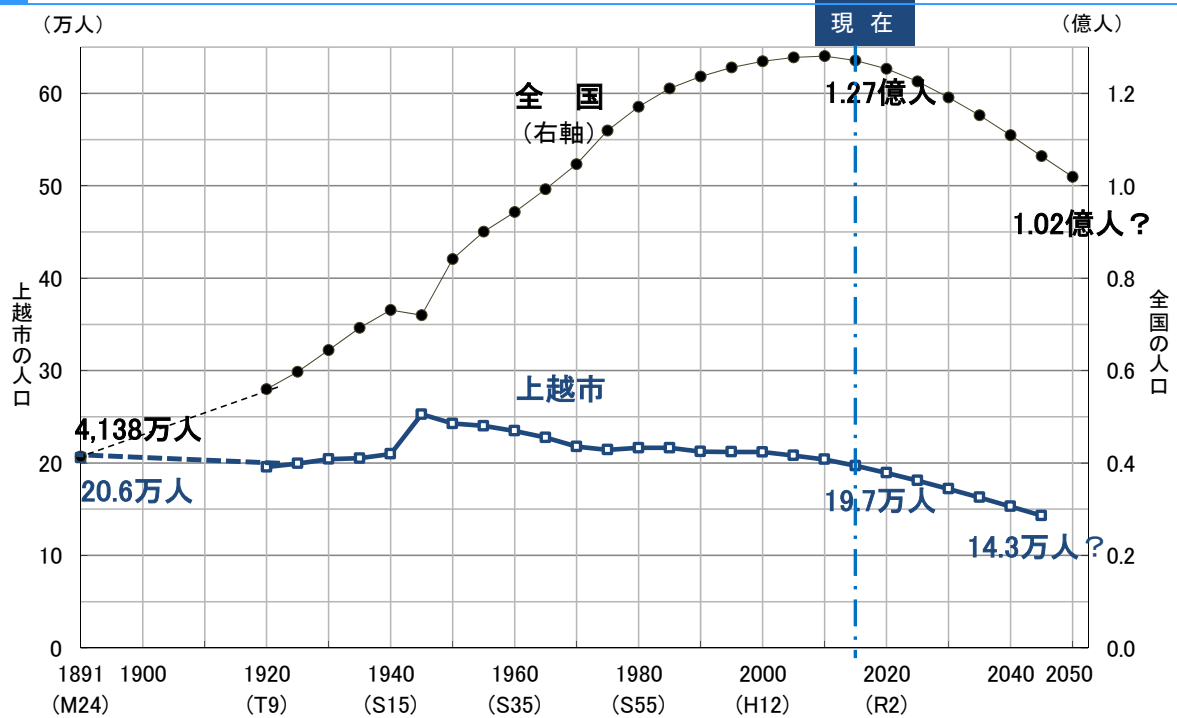
全体で約1%の差が生じる。用途に応じたデータの取捨選択が必要。



1 人 口



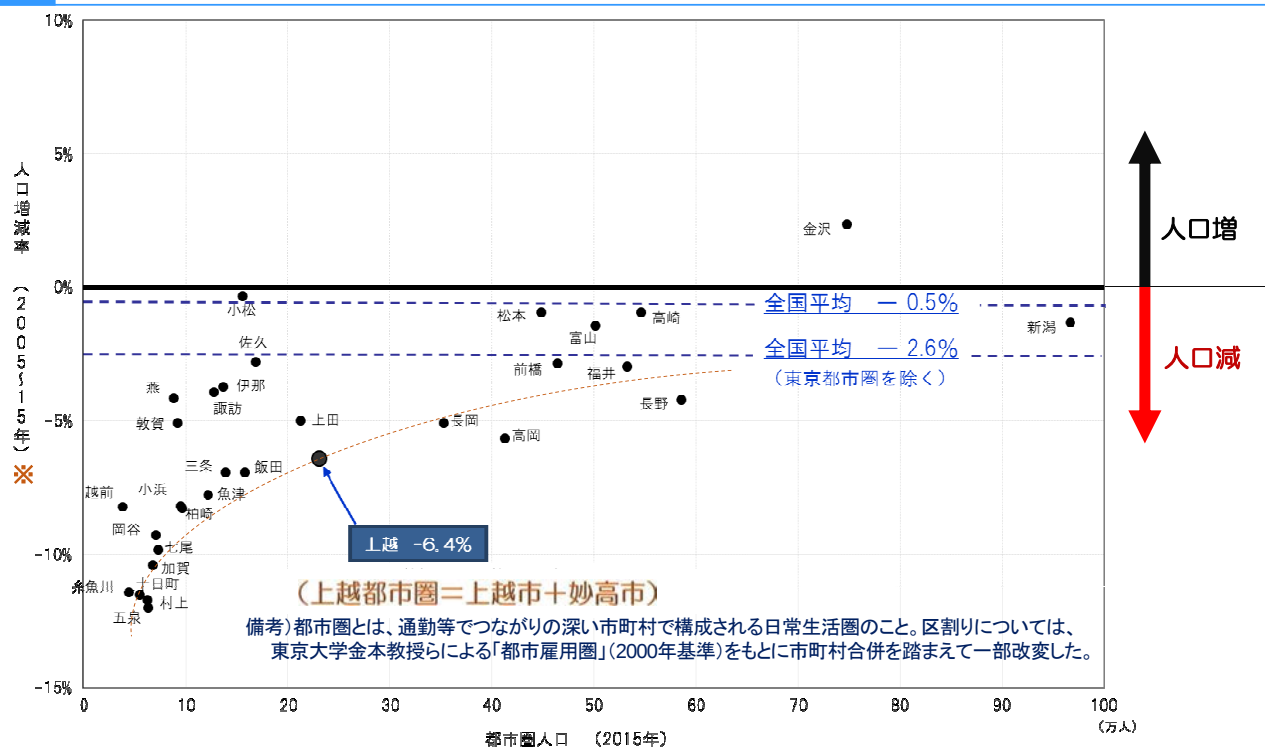
上越市の総人口の推移（1891～2015～2045推計）



出所)陸軍省「徴発物件一覧表」(1891)、総務省「国勢調査」(1920-2015)、国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」(2020-50)

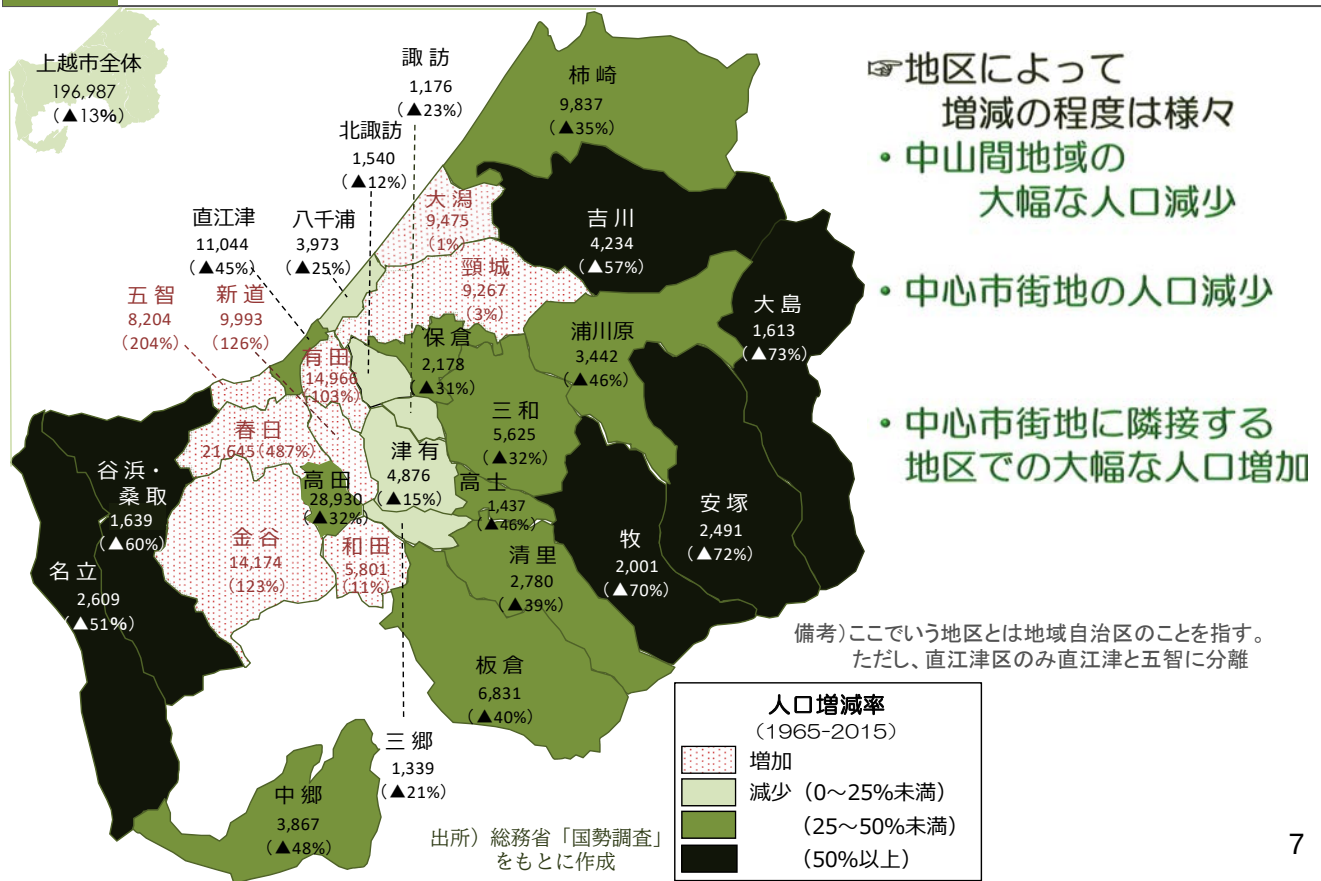
- ☞ 全国の人口は過去100年間で3倍。これから急速に人口減少。
- ☞ 上越市の人口は、100年前とあまり変わらない。戦後は緩やかに微減傾向 (しかし、このままのペースでいくと一気に減少が進む可能性もあり。)

北信越地域の都市圏人口増減率（2005→15）



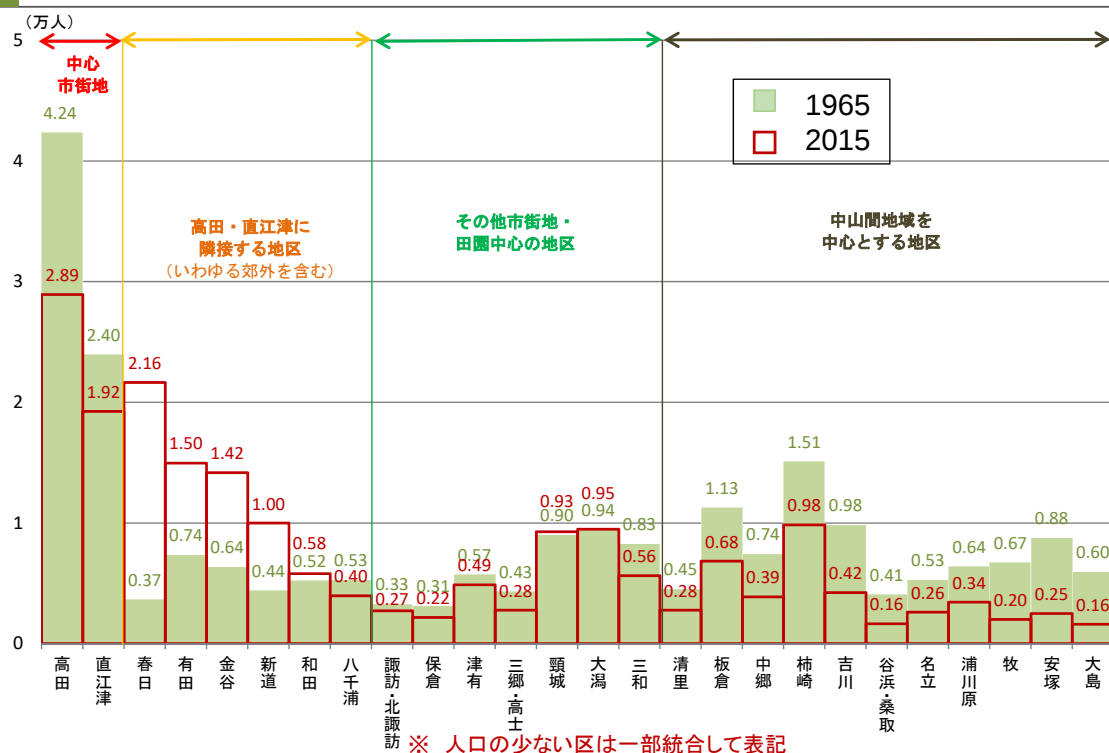
- ☞ 都市圏人口が少ないほど人口減少が激しい傾向 (稀にここから転入超過に抜け出す小規模町村もあり)

上越市内地区別の人口増減率（1965→2015）



7

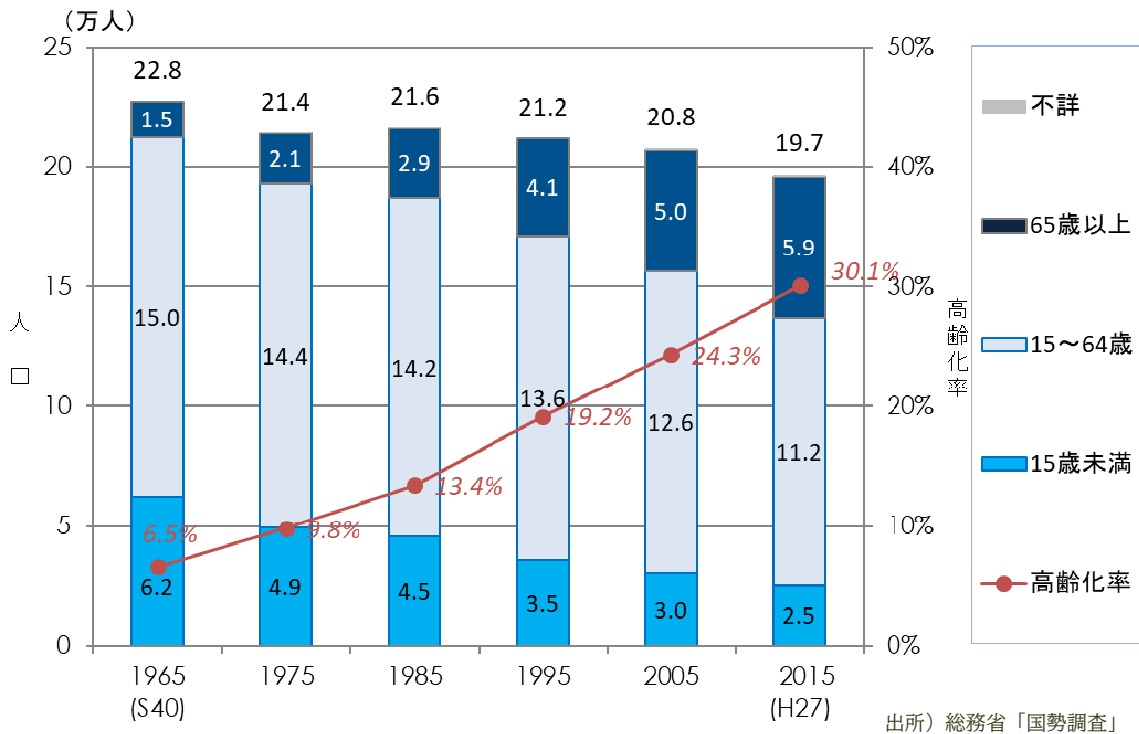
上越市内地区別の人口分布（1965・2015）



50年前は、中心市街地と中山間地域の人口が多い時代
その後、中心市街地・中山間地域の人口減と、郊外の人口増が続く

8

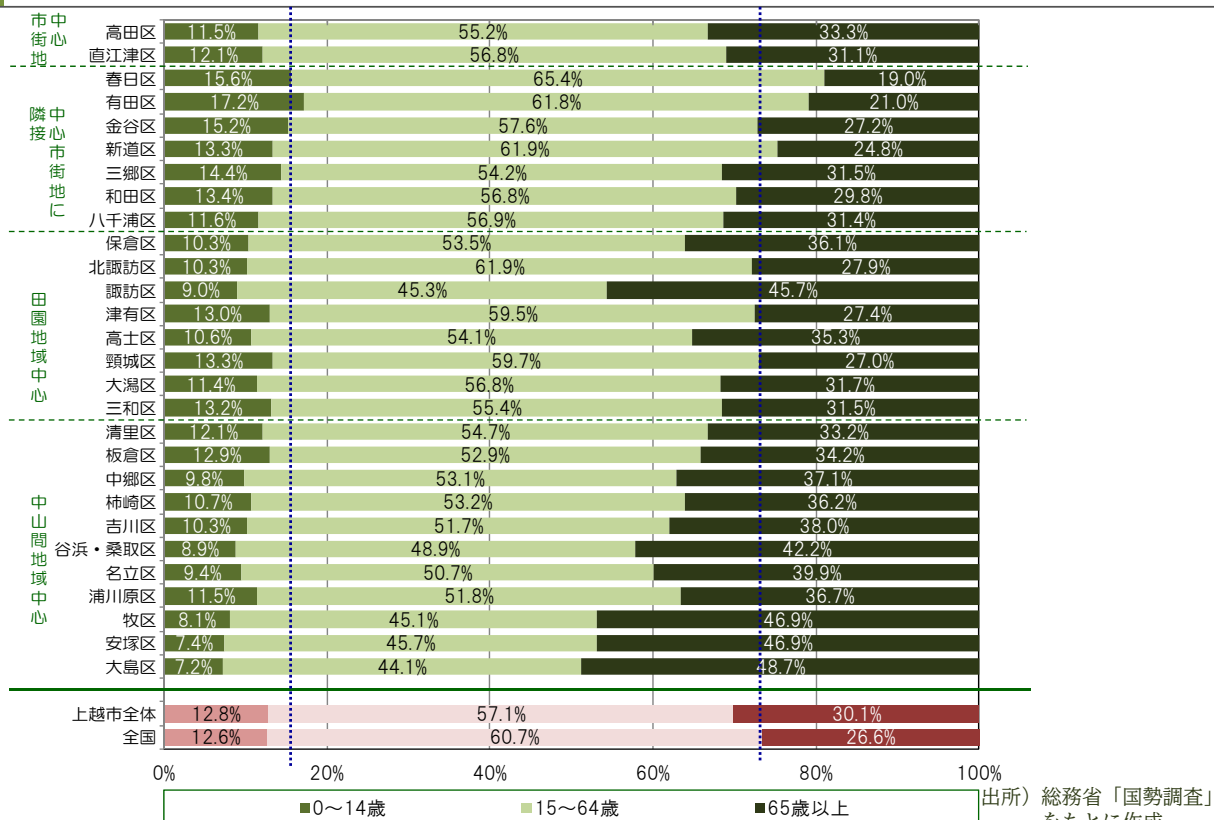
上越市の年齢別人口の推移 (1965~2015)



過去50年間で上越市の人口は13%減
この間、子どもの数は6割減少、高齢者の数は4倍増加

9

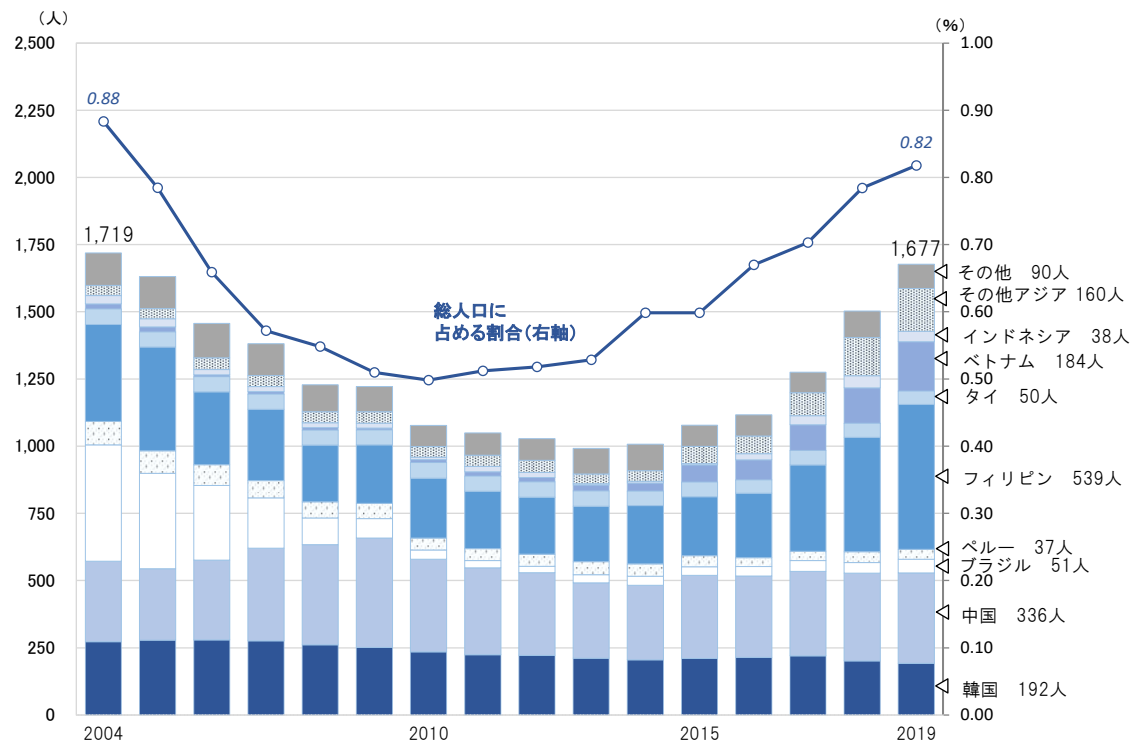
上越市内地区別の年齢構成 (2015)



年齢構成は、地区によって大きく異なる(人口増減との関係性が深い)

10

上越市の外国人人口の推移 (2004-2019)

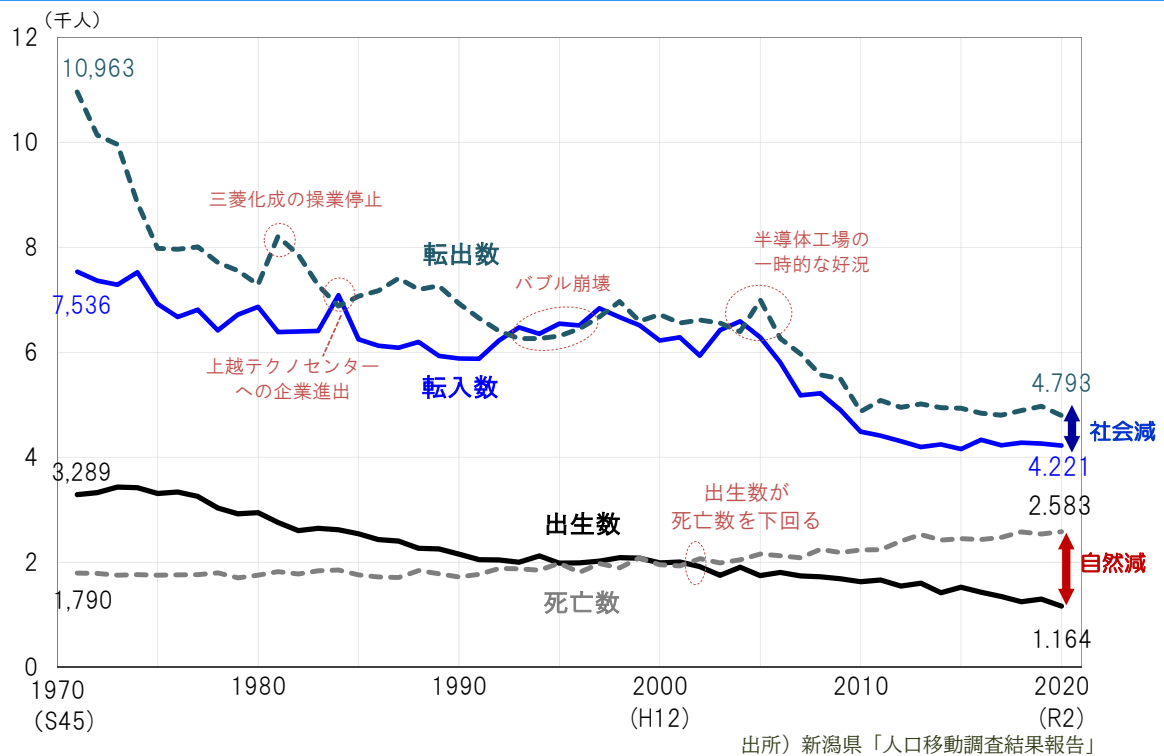


近年、人口に占める外国人の割合は増加傾向で推移

出所) 上越市住民基本台帳

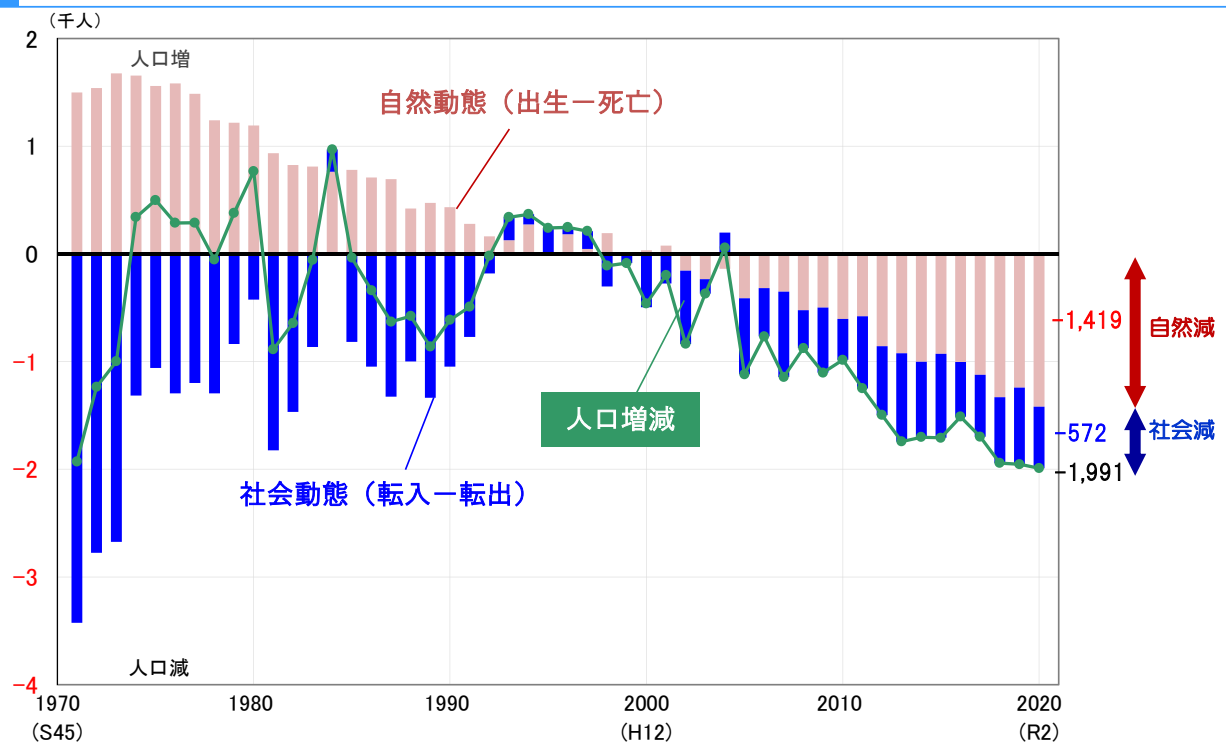
2(1)人口動態の概況

上越市の人口動態の推移 (1971~2020)



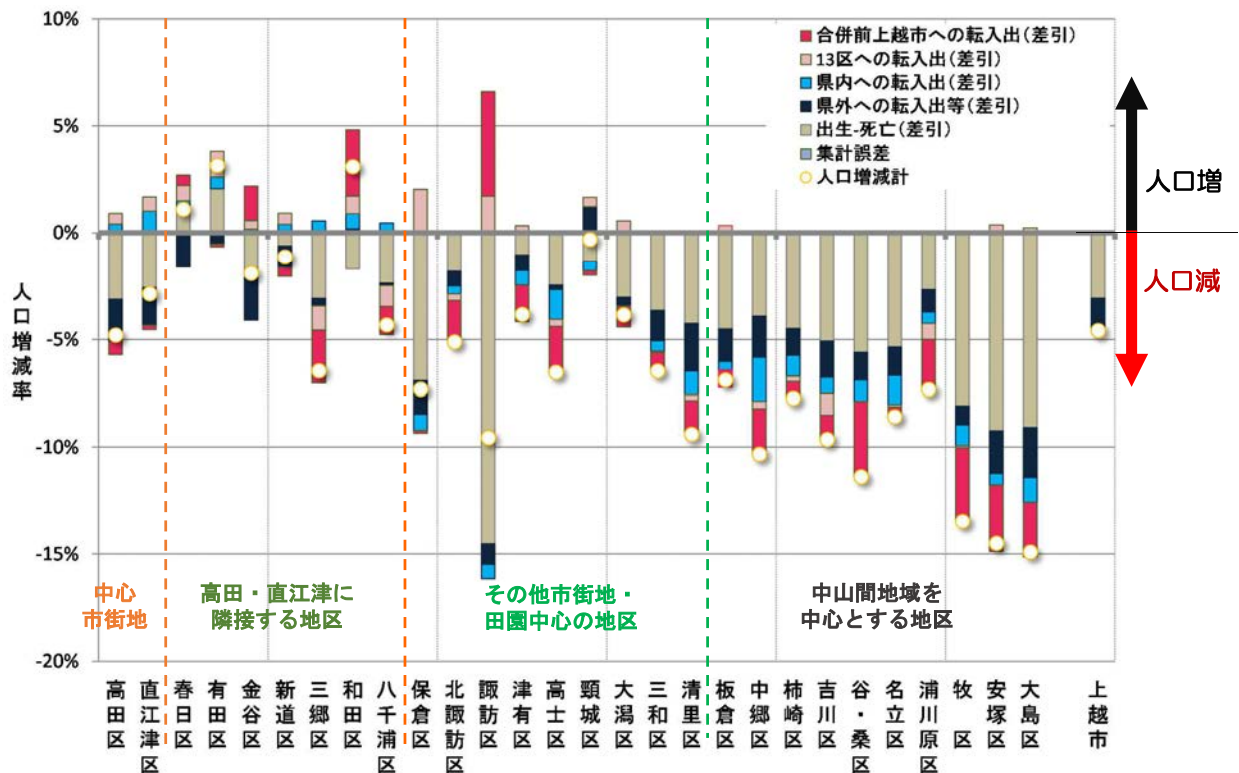
- 出生数は約50年間で6割減、2002年からは継続して自然減
 出生と死亡の差は拡大傾向にあり 13
 転入数は概ね転出数を下回る（一時的な経済状況の変化による例外もあり）

上越市の自然動態と社会動態の推移 (1971~2020)



- 自然動態（出生と死亡）、社会動態（転入と転出）のマイナスは
 過去20年間で一部を除いて拡大傾向にあり

上越市内地区別の人口動態 (2016-20)

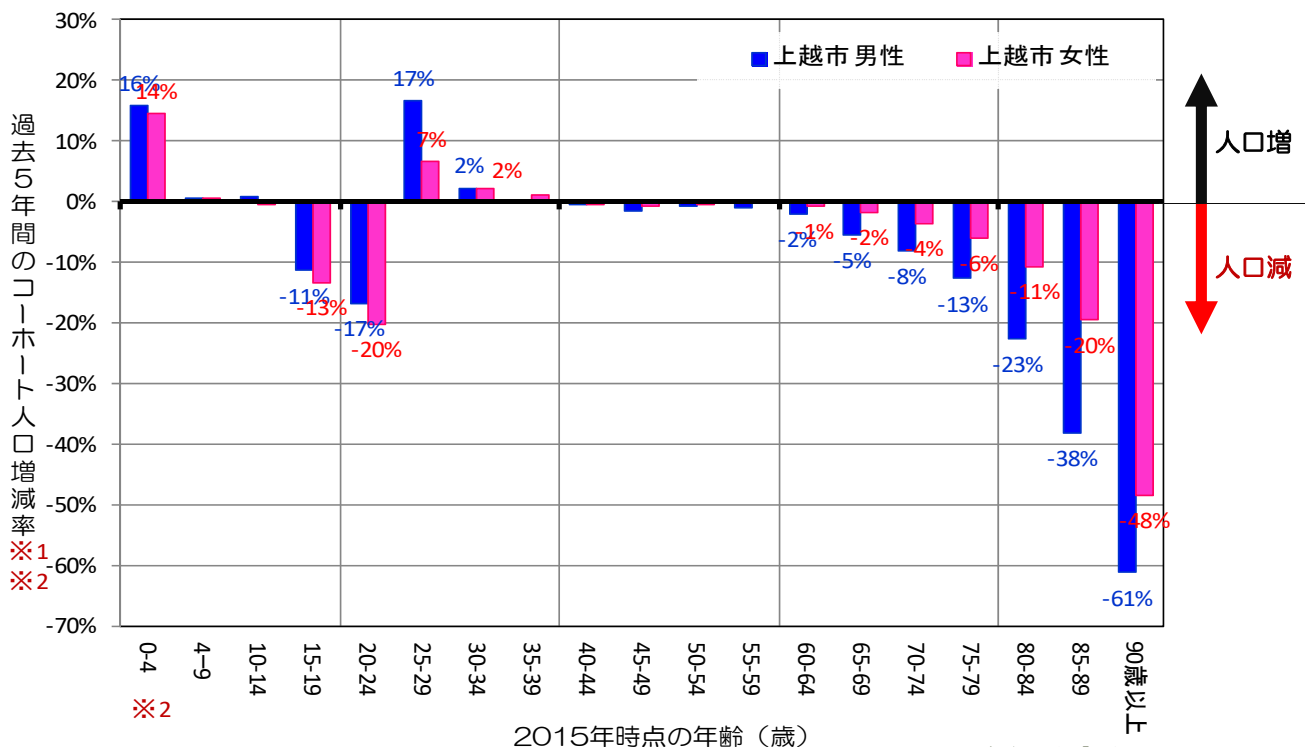


ほとんどの区で、自然減と県外への転出超過
市内の移動は格差あり

出所) 上越市住民基本台帳をもとに独自集計

15

上越市の年齢別・男女別にみた人口増減 (2010→15)



※1 5年前の5歳若い世代(すなわち同じ生まれ年のグループ)の人口と比較したもの。

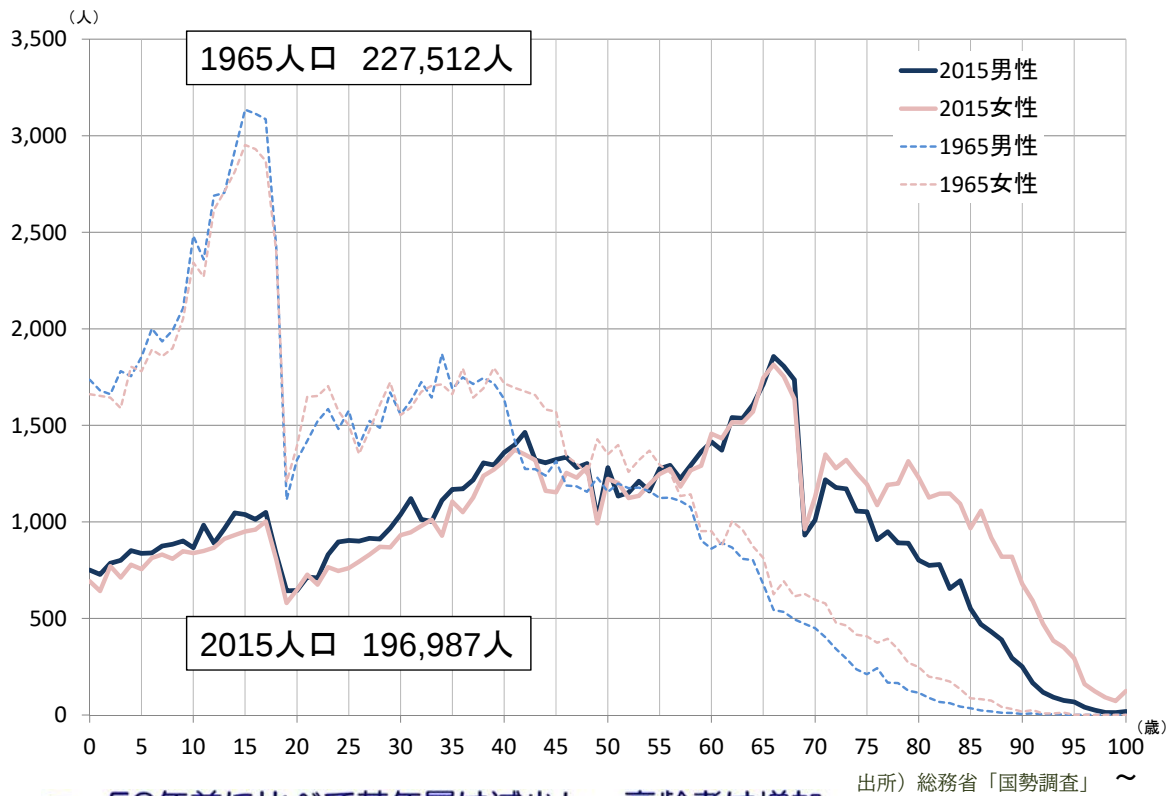
※2 0-4歳の値は出生こども比(20-44歳女性人口に占める5歳未満人口の割合)

出所) 総務省「国勢調査」

男女間で傾向が大きく異なるのは、20代後半と65歳以降

16

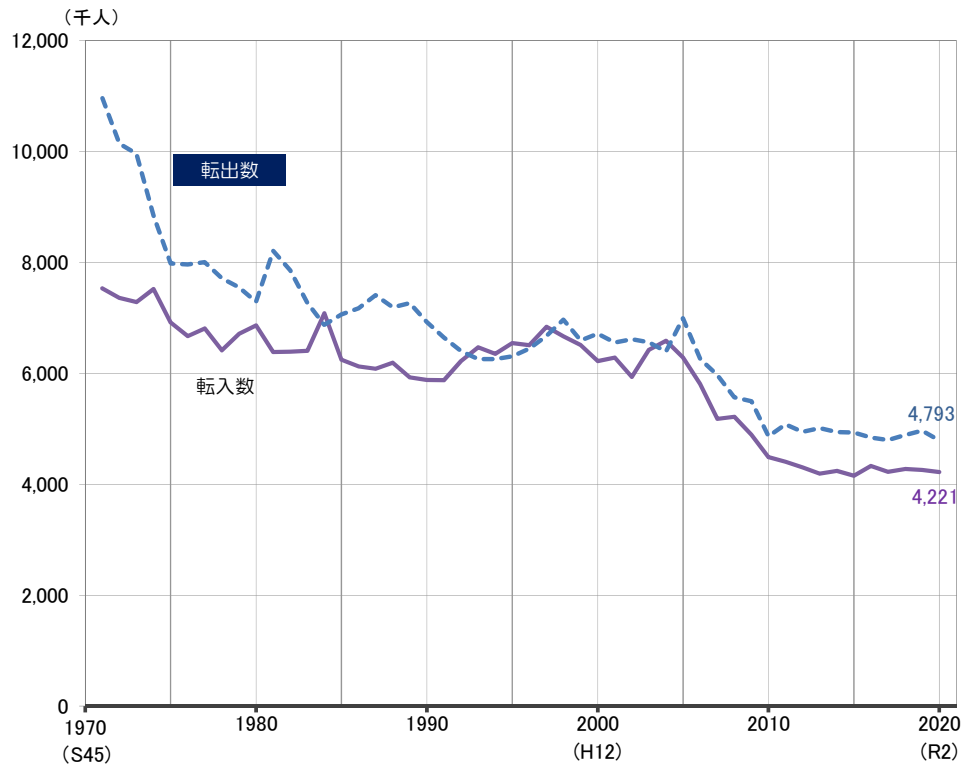
上越市の年齢別・男女別人口（1965・2015）



50年前に比べて若年層は減少し、高齢者は増加
現在では出生以降しばらくは女性人口が男性人口よりも少ない

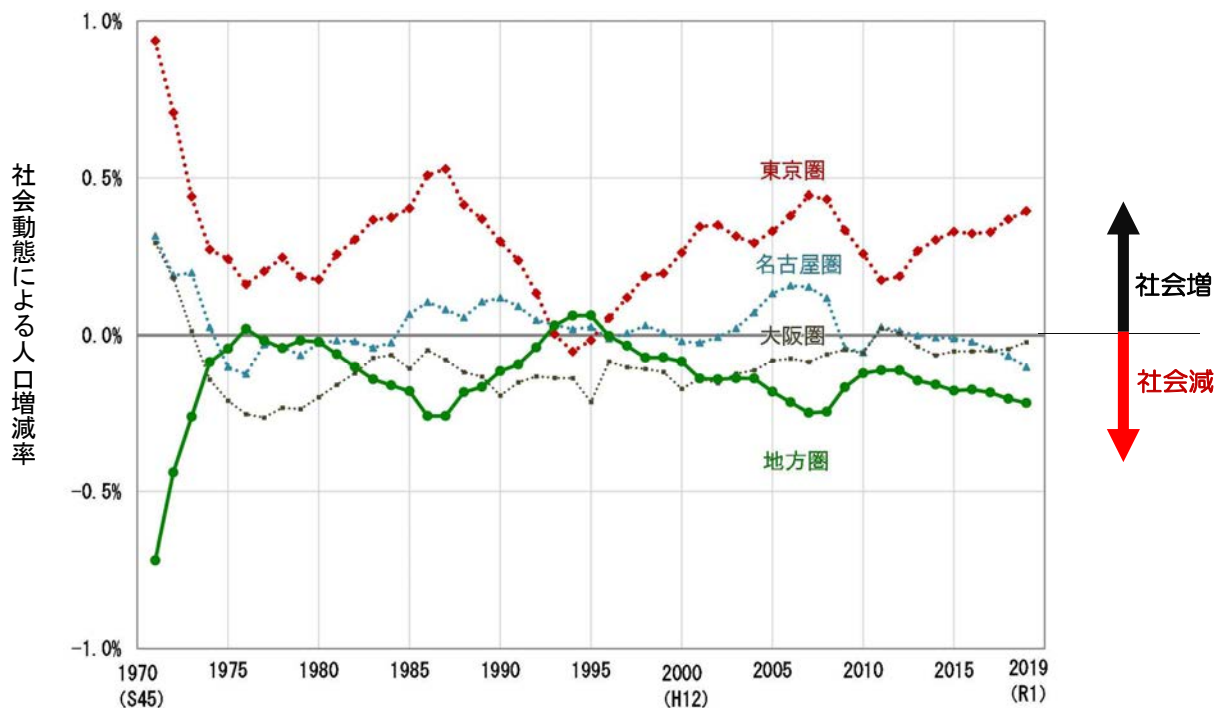
2(2) 転入出の状況

上越市の社会動態の推移 (1971~2020)



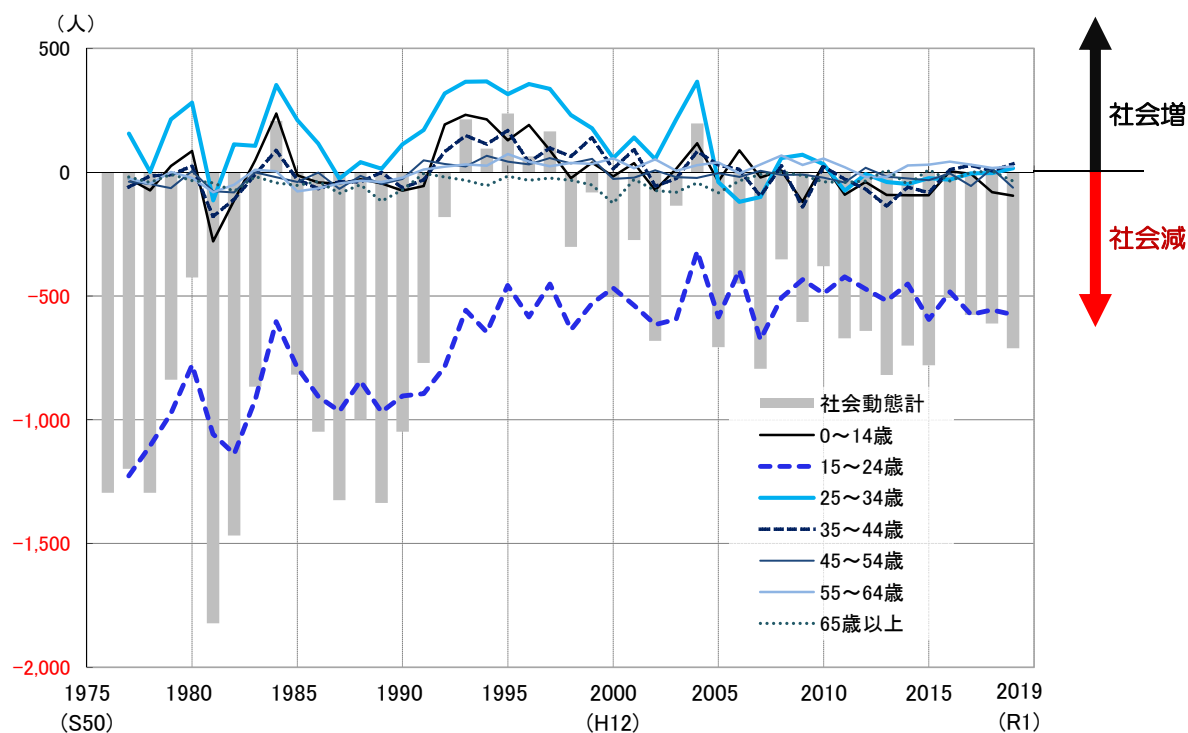
➡ 転入数・転出数は人口減に伴い減少。両者の差は近年横ばい～拡大傾向 19

社会増減率の比較 (1971~2019)



➡ 東京圏と地方圏はほぼ真逆の動き
近年は東京への人口移動が増加傾向

上越市の年齢別社会動態の推移（1976～2019）

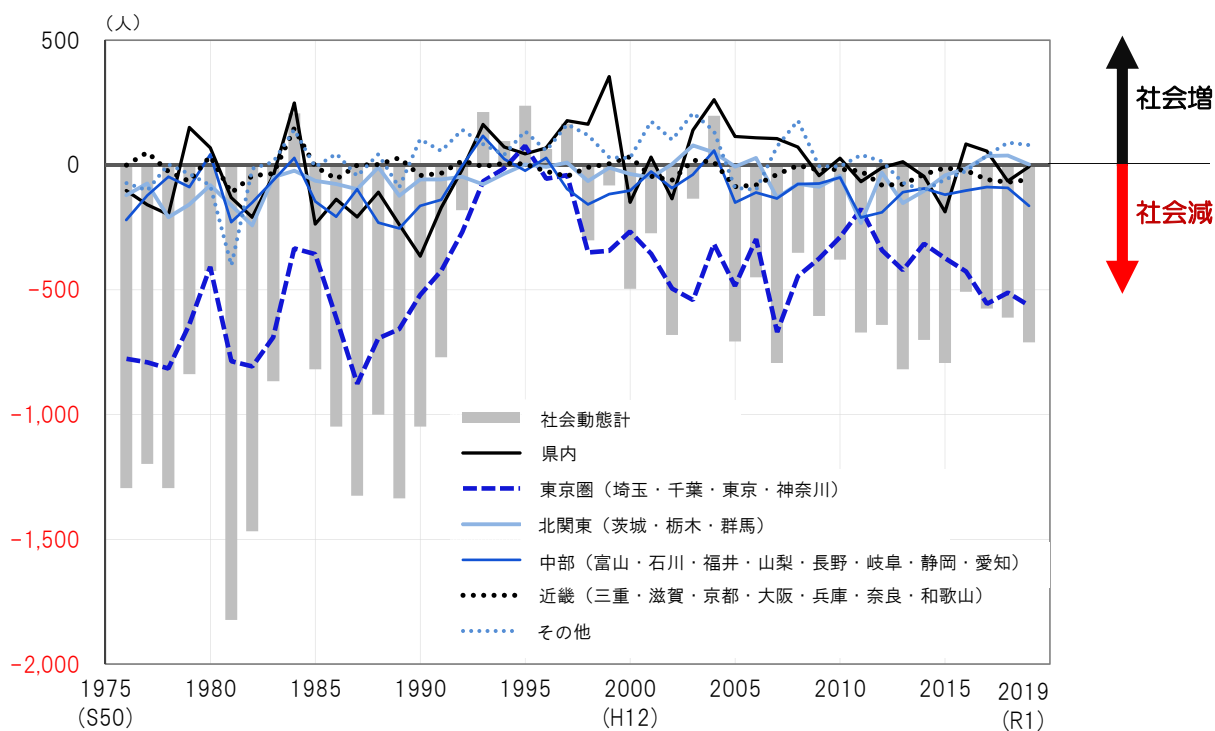


出所）新潟県「人口移動調査結果報告」

☞ 10代後半～20代前半はマイナス、20代後半～30代前半はややプラスになっていたが、近年はマイナスになることも

21

上越市の地域別社会動態の推移（1976～2019）



出所）新潟県「人口移動調査結果報告」

☞ 東京圏に対する転出超過が続いており、近年は拡大傾向

22

上越市の転入・転出の動き (2016-20)

【男性】

男－差引	0-14歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳	45-54歳	55-64歳	65歳以上	合計
県内	糸魚川市	17	30	65	34	23	8	219
	妙高市	4	40	109	38	27	15	232
	十日町・魚沼圏	33	63	3	29	3	21	155
	柏崎・長岡圏	-42	-23	-28	4	-5	19	-78
	新潟圏	-94	-75	-35	-59	-15	-4	-292
	その他県内	-13	29	-22	6	-1	5	8
	県内計	-95	64	92	52	32	46	244
県外	北海道・東北	-11	-27	0	-15	9	-7	-58
	北関東	-5	25	13	-5	13	-5	35
	東京圏	-42	-868	-112	-15	-31	22	-1,040
	長野県	1	-51	-1	-11	-14	-6	-92
	北陸	-13	-54	-15	9	9	12	-52
	東海	-6	-46	-26	-2	-10	3	-93
	近畿	-18	-43	-27	-17	-8	2	-109
	その他国内	-13	-26	-19	-2	1	2	-55
	国外	16	53	85	57	26	20	265
	県外計	-91	-1,037	-102	-1	-5	43	-1,199
不詳		2	-20	-80	-28	-22	-14	-170
総計		-184	-993	-90	23	5	75	-1,125

出所) 上越市住民基本台帳をもとに独自集計

- ☞ 周辺市町村からは転入超過だが、新潟市や東京周辺に対しては転出超過
特に15-24歳の東京圏に対する転出超過が顕著
国外からの転入超過もみられるが、今後の動向は不透明

23

上越市の転入・転出の動き (2016-20)

【女性】

女－差引	0-14歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳	45-54歳	55-64歳	65歳以上	合計
県内	糸魚川市	17	23	54	38	17	7	191
	妙高市	23	27	66	31	16	13	127
	十日町・魚沼圏	18	20	21	15	4	6	121
	柏崎・長岡圏	-5	-42	-44	-13	9	6	-100
	新潟圏	-41	-231	-63	-20	-16	4	-414
	その他県内	-29	60	2	-15	1	2	28
	県内計	-17	-143	36	36	31	38	-47
県外	北海道・東北	-19	-14	26	-22	-2	0	-28
	北関東	-6	-20	15	14	-8	4	-15
	東京圏	-13	-1,330	-115	11	-56	3	-1,579
	長野県	-28	-72	-16	-13	4	-3	-133
	北陸	10	-48	-3	11	-4	-3	-41
	東海	-4	-48	-19	7	-5	1	-64
	近畿	-30	-82	-3	-14	-8	-2	-139
	その他国内	-11	2	35	-1	-7	0	7
	国外	15	28	112	101	6	9	277
	県外計	-86	-1,584	32	94	-80	9	-1,715
不詳		2	-22	-41	-11	-4	-9	-91
総計		-101	-1,749	27	119	-53	38	-1,853

出所) 上越市住民基本台帳をもとに独自集計

- ☞ 各地域に対する転入出の傾向は概ね男性と同様だが、
転出超過の規模は男性より大きい。

24

上越市の転入・転出の動き (2011-20)

【男性】

	2011-15	2016-20		
	(転入-転出)	(転入-転出)	転入	転出
0-14歳	▲ 191	▲ 184	↘ 1,123	↘ 1,307
15-24歳	▲ 951	▲ 993	↗ 3,381	↗ 4,374
25-34歳	▲ 225	▲ 90	3,659	↘ 3,749
35-44歳	▲ 208	23	1,930	↘ 1,907
45-54歳	▲ 34	5	↗ 1,129	↗ 1,124
55-64歳	29	75	586	511
65歳以上	▲ 18	39	↗ 474	435
合 計	▲ 1,598	▲ 1,125	↗ 12,282	↘ 13,407

☞ 男性と女性では転入出の傾向が一部異なる。

特に女性の若年層で大幅な転出超過

【女性】

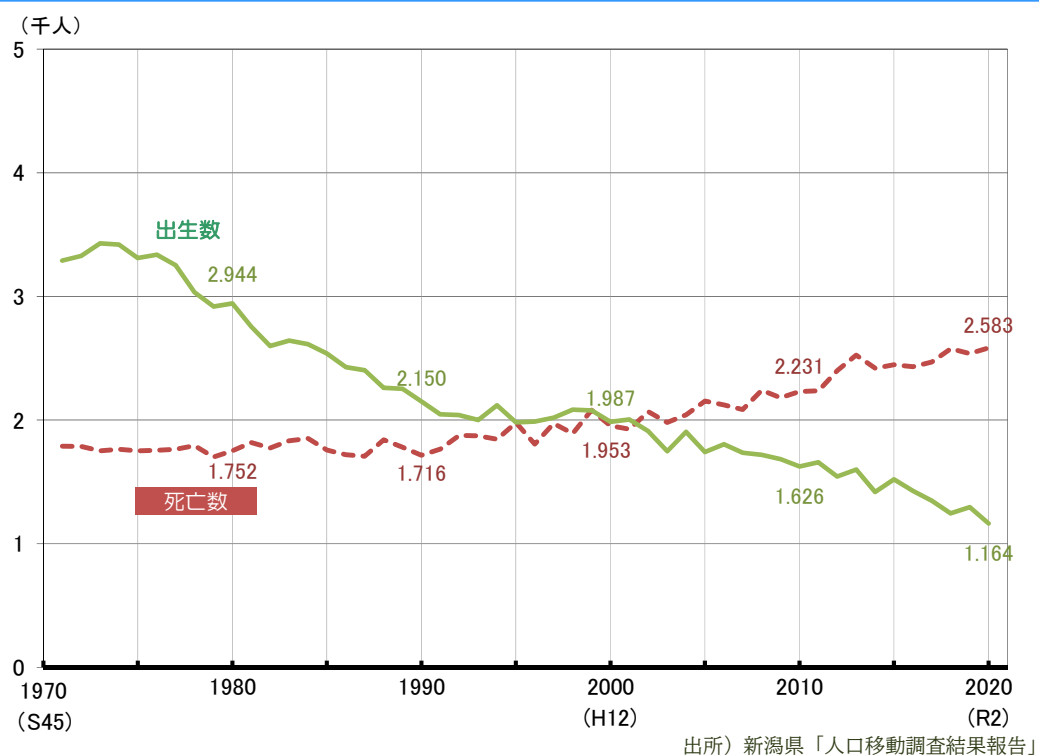
	2011-15	2016-20		
	(転入-転出)	(転入-転出)	転入	転出
0-14歳	▲ 211	▲ 101	↘ 1,133	↘ 1,234
15-24歳	▲ 1,490	▲ 1,749	↗ 1,993	↗ 3,742
25-34歳	14	27	↘ 3,052	↘ 3,025
35-44歳	▲ 174	119	1,450	↘ 1,331
45-54歳	▲ 60	▲ 53	566	619
55-64歳	18	38	337	299
65歳以上	▲ 90	▲ 134	533	667
合 計	▲ 1,993	▲ 1,853	↘ 9,064	↘ 10,917

※ 転入出の矢印は前年比±100以上を示す

出所)上越市住民基本台帳をもとに独自集計

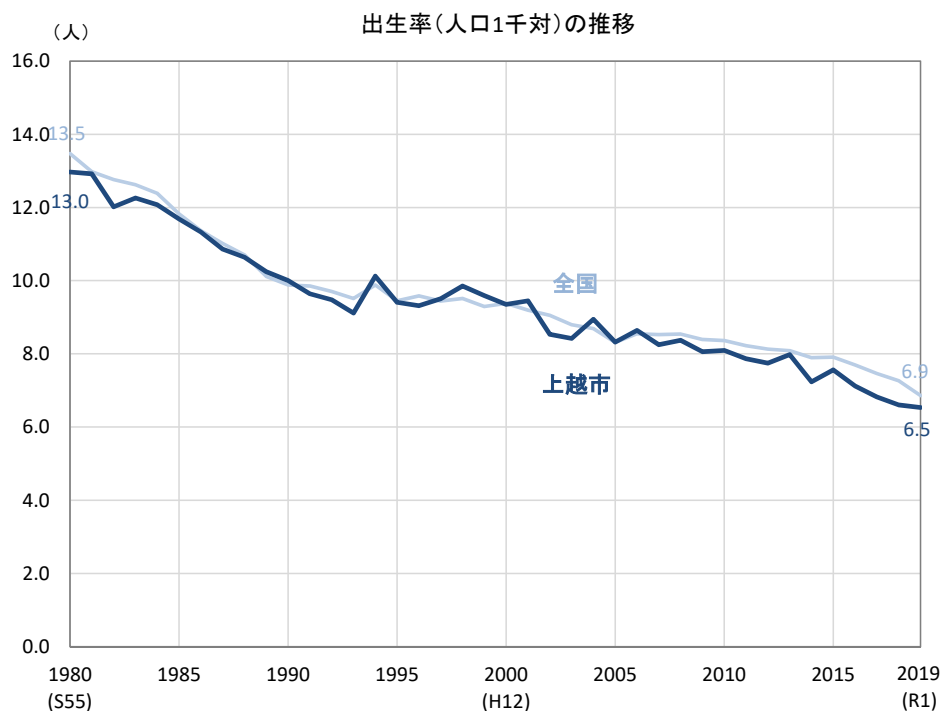
2(3) 出生の状況

上越市の自然動態の推移 (1971~2020)



👉 出生数の減少と死亡数の増加が続き、その差は拡大傾向
減少幅は社会動態に比べても大きい

上越市と全国の粗出生率（1980～2019）

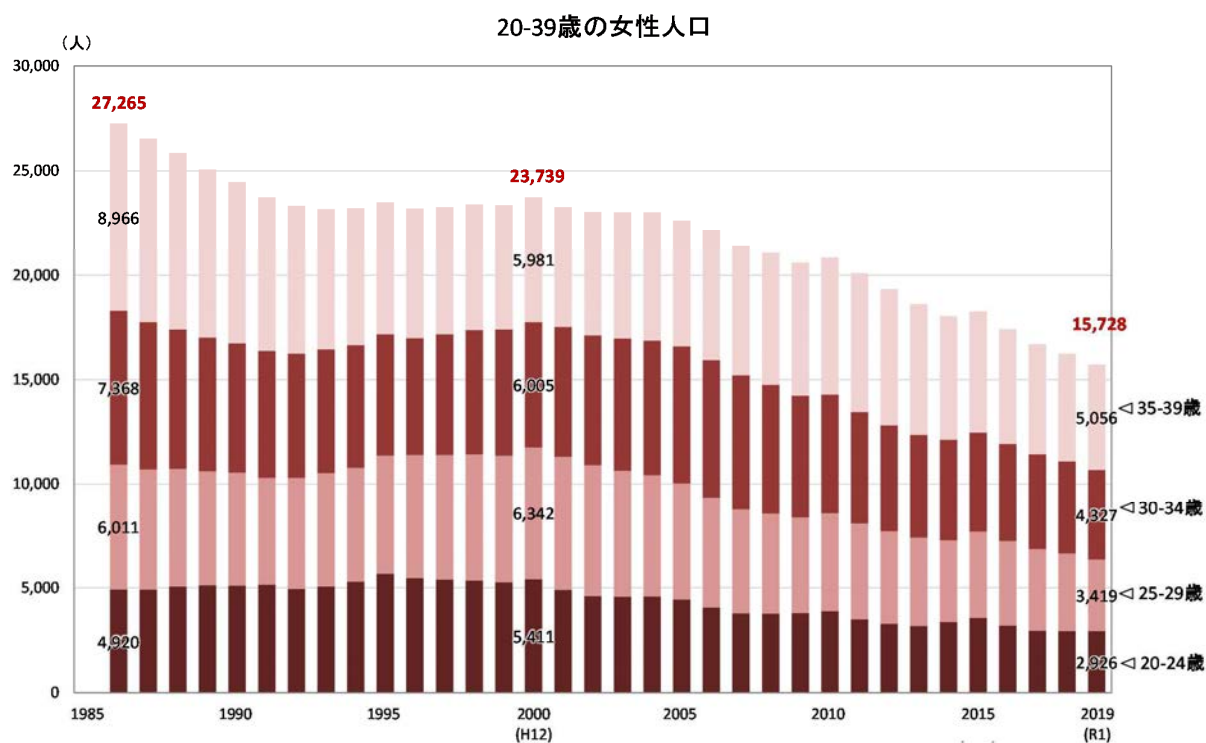


出所) 厚労省「人口動態調査」、新潟県「福祉保健年報」をもとに作成

👉 全国とほぼ同じ水準で推移してきたが、近年上越市が低下

29

上越市の20・30代女性人口の推移(1986～2019)

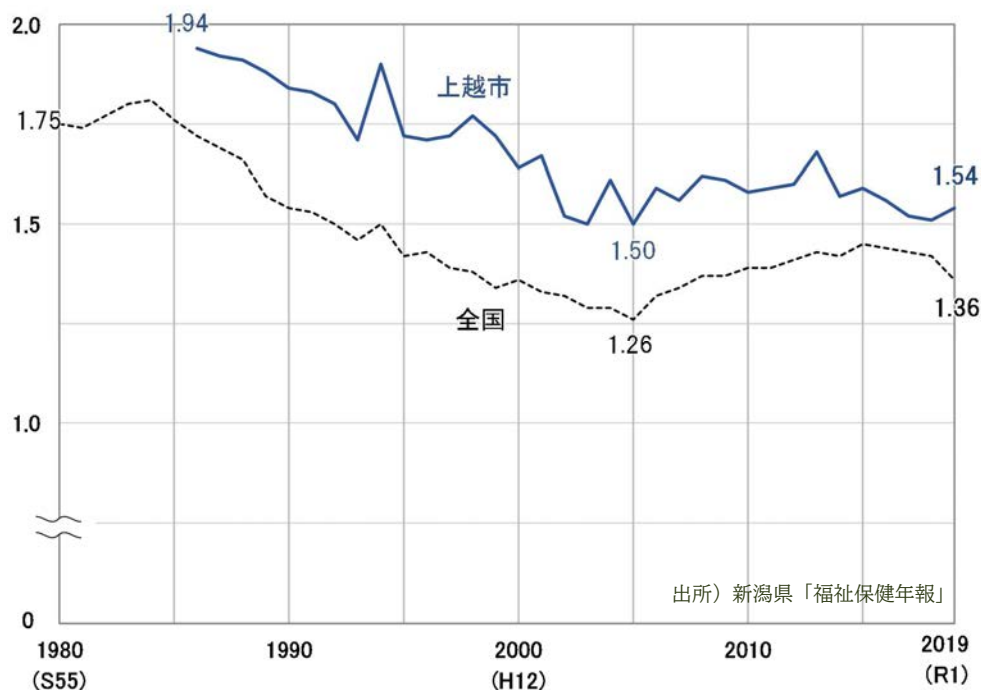


出所) 新潟県「推計人口」

👉 過去30年間で3割以上減。
出生数の減少は、この女性人口と出生率双方の減少によるもの

30

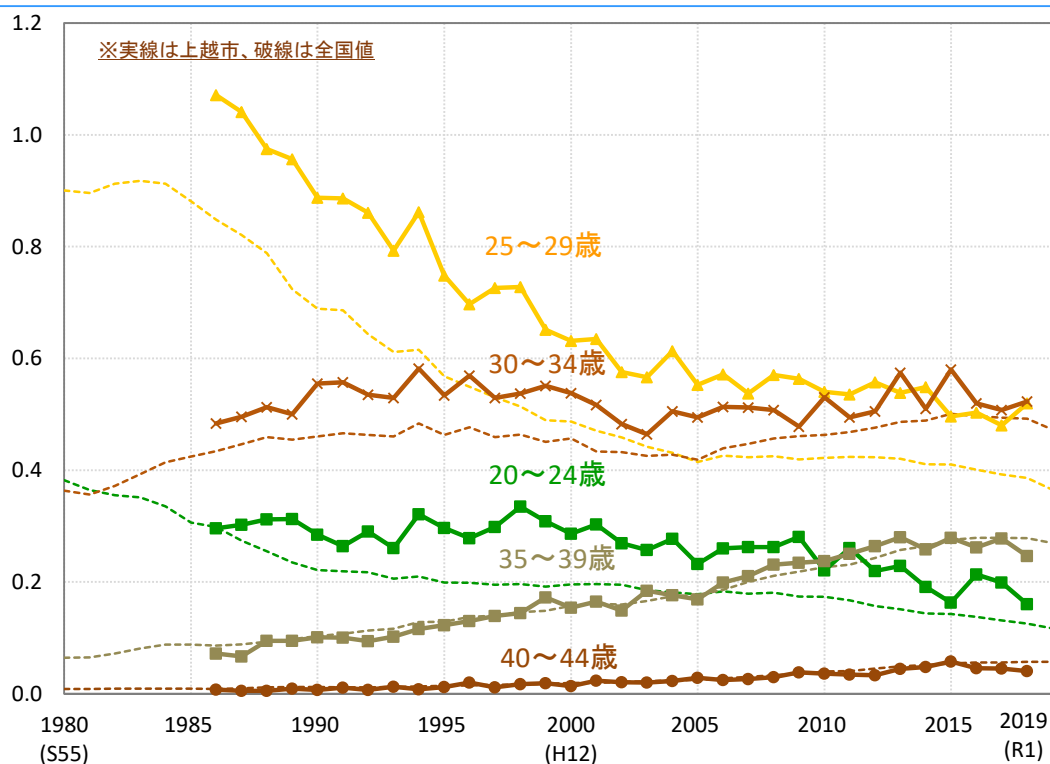
上越市の合計特殊出生率の推移（1980～2019）



- ☞ 長期的には減少傾向にあり、2005年以降は横ばい傾向だったが直近は減少の兆しあり
- 全国平均よりは高いものの、出生率2.07を下回る間は、転入出の差がゼロでも長期的には人口減少

31

上越市の年代別出生率の推移（1980～2019）

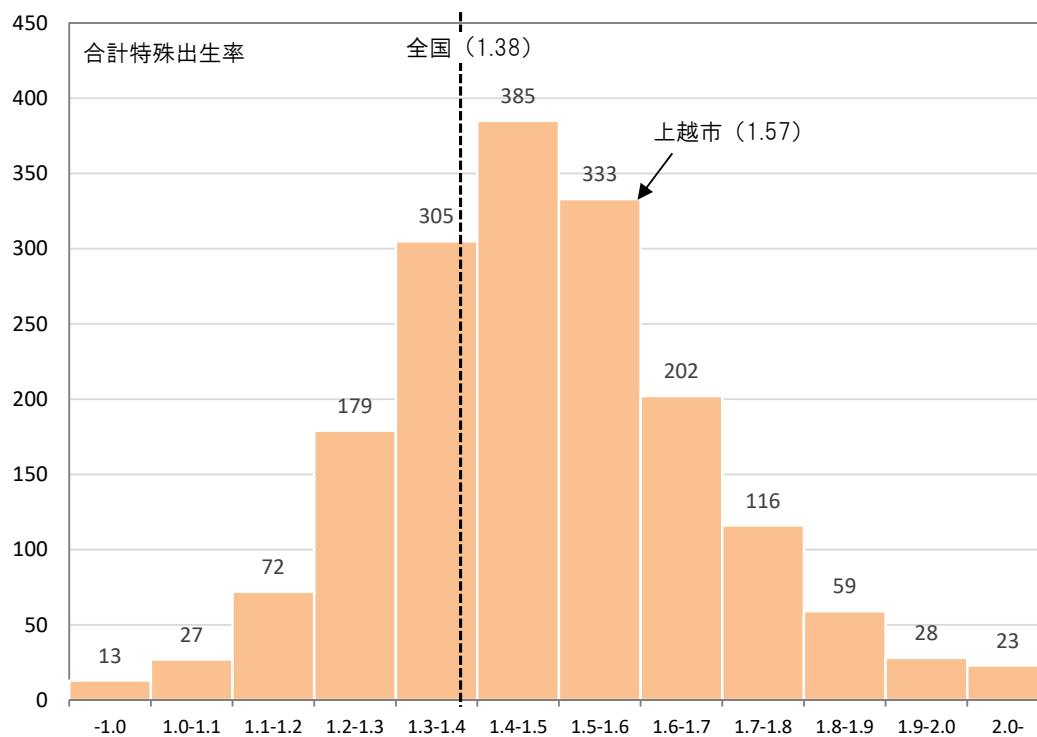


出所) 新潟県「福祉保健年報」をもとに作成

- ☞ 30代後半の出生率は、増加傾向だったが近年は横ばいで推移
- 20代後半の出生率は、30年間でほぼ半減（全体の出生率に影響）

32

上越市の合計特殊出生率の全国比較（2010-14）

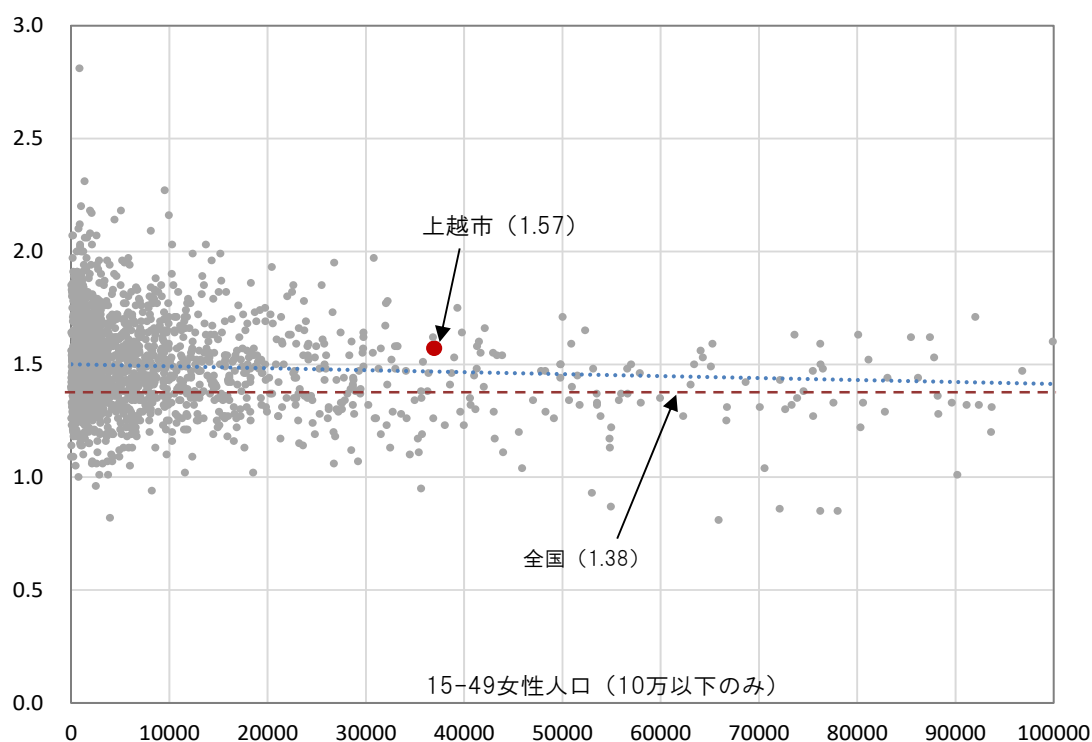


出所）厚労省「人口動態調査特別報告」

👉 全国平均に比べると出生率は高い水準

33

上越市の合計特殊出生率の全国比較（2010-14）

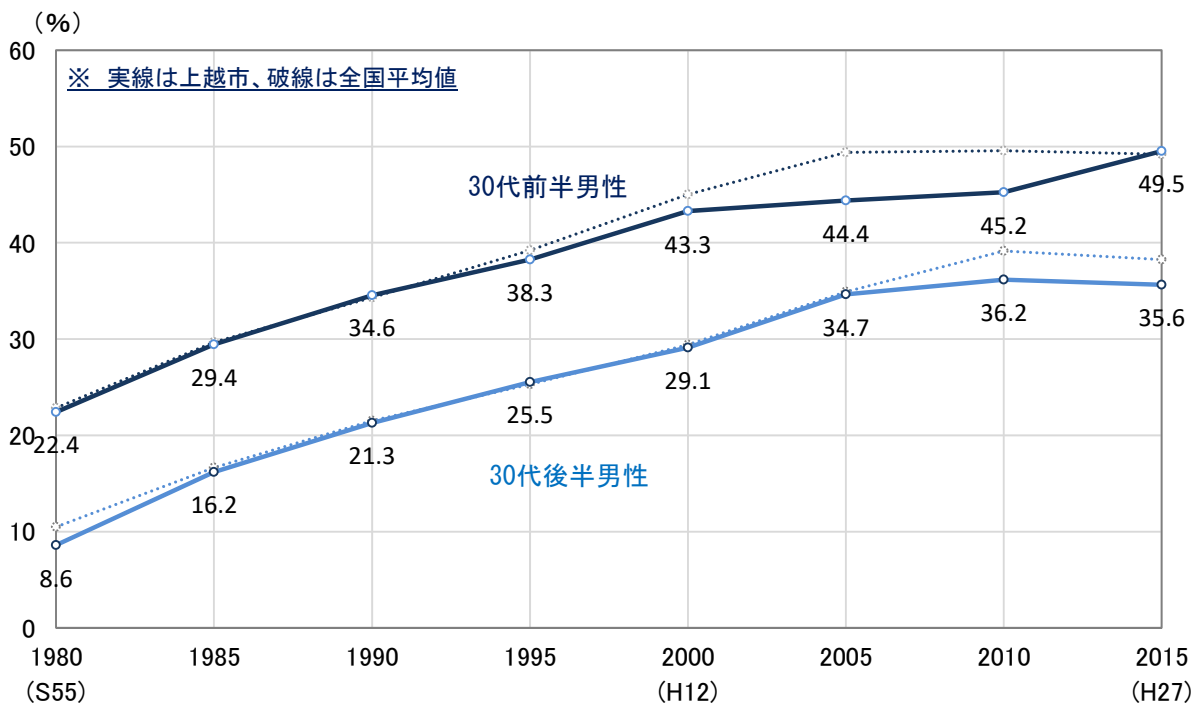


出所）厚労省「人口動態調査特別報告」

👉 全国平均に比べると出生率は高い水準

34

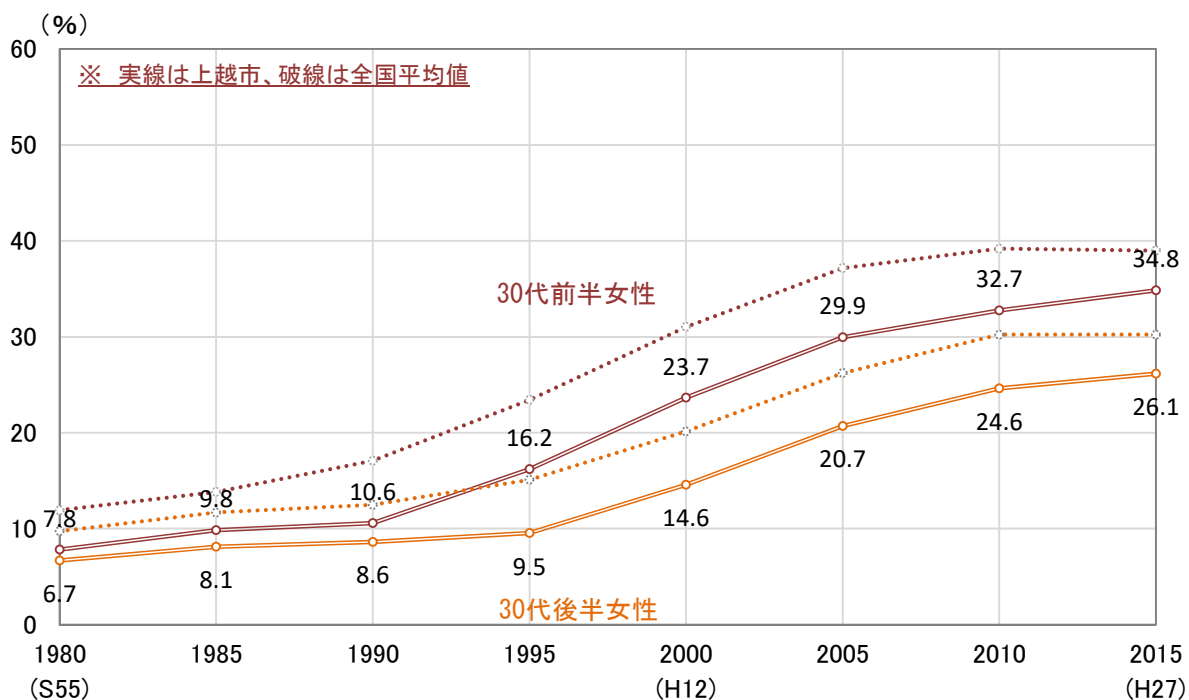
上越市の独身割合の推移（30代男性 / 1980～2015）



☞ 右肩上がりに増加傾向
今後横ばいとなる兆しもあり。ただし独身者の高齢化は進行

35

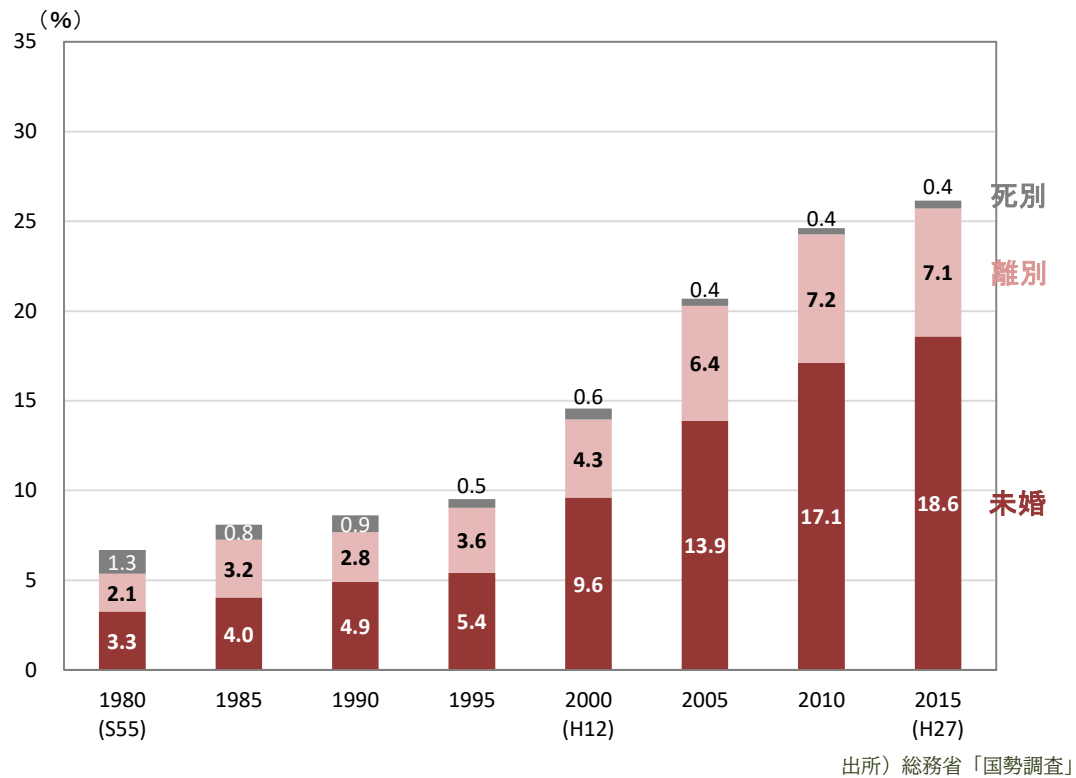
上越市の独身割合の推移（30代女性 / 1980～2015）



☞ 右肩上がりに増加傾向
出生率低下との相関あり。加えて、独身者の高齢化も進行

36

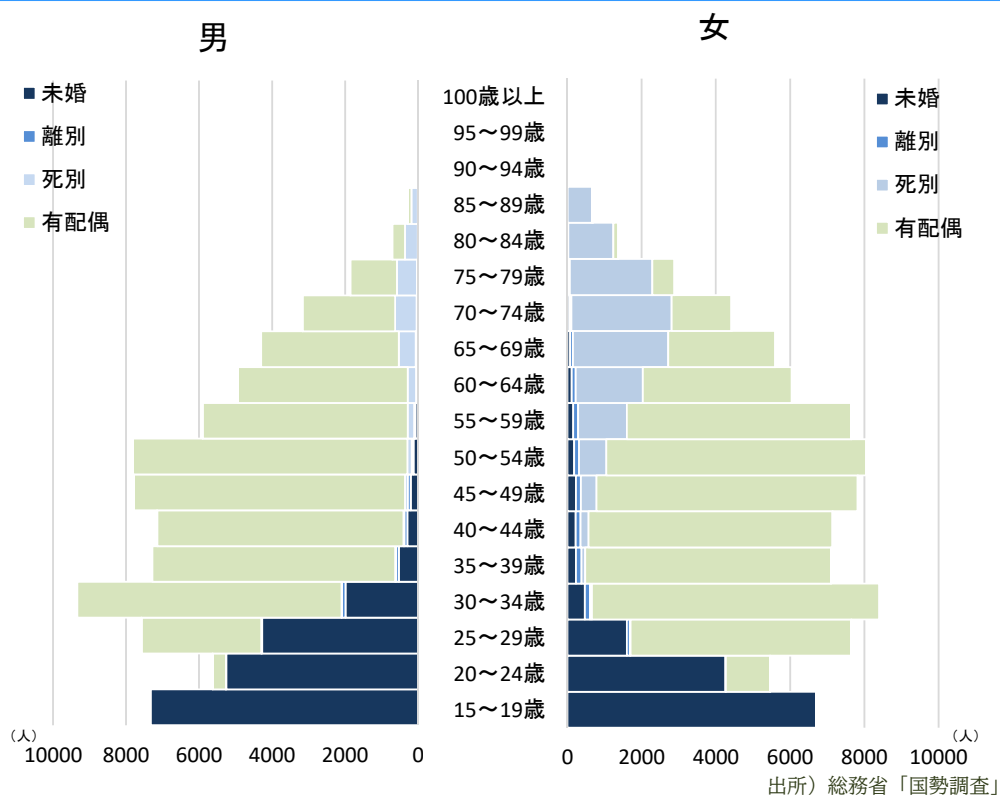
上越市の独身割合の推移（30代後半女性 / 1980～2015）



☞ 未婚だけでなく離別も上昇しており、2015年では3分の1が離別者

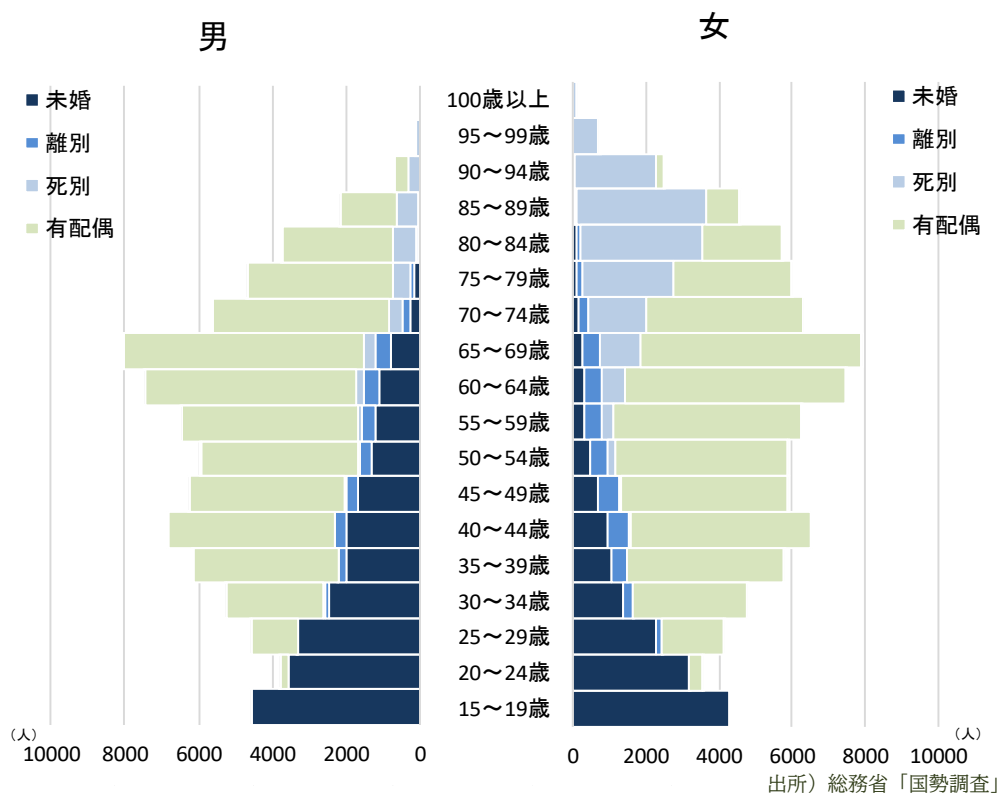
37

上越市の配偶関係の分布（1980）



39

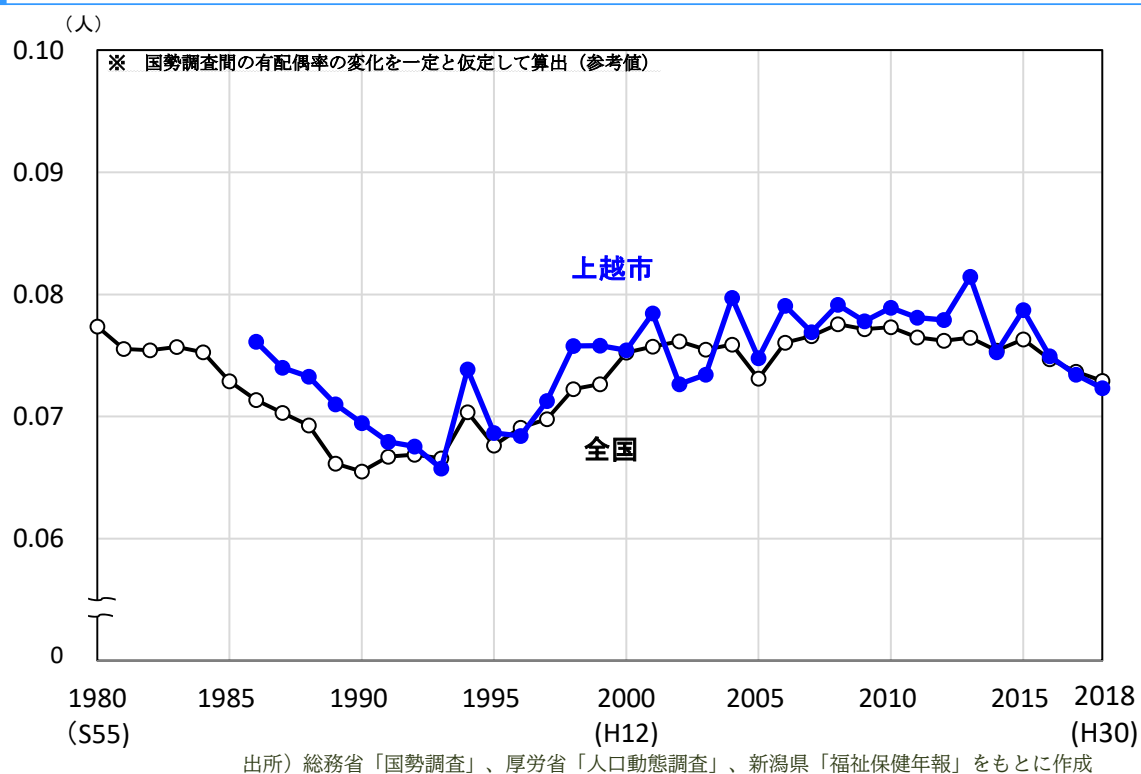
上越市の配偶関係の分布（2015）



☞ 男性は30代以降、女性は20代後半以降の未婚・離別が増加

40

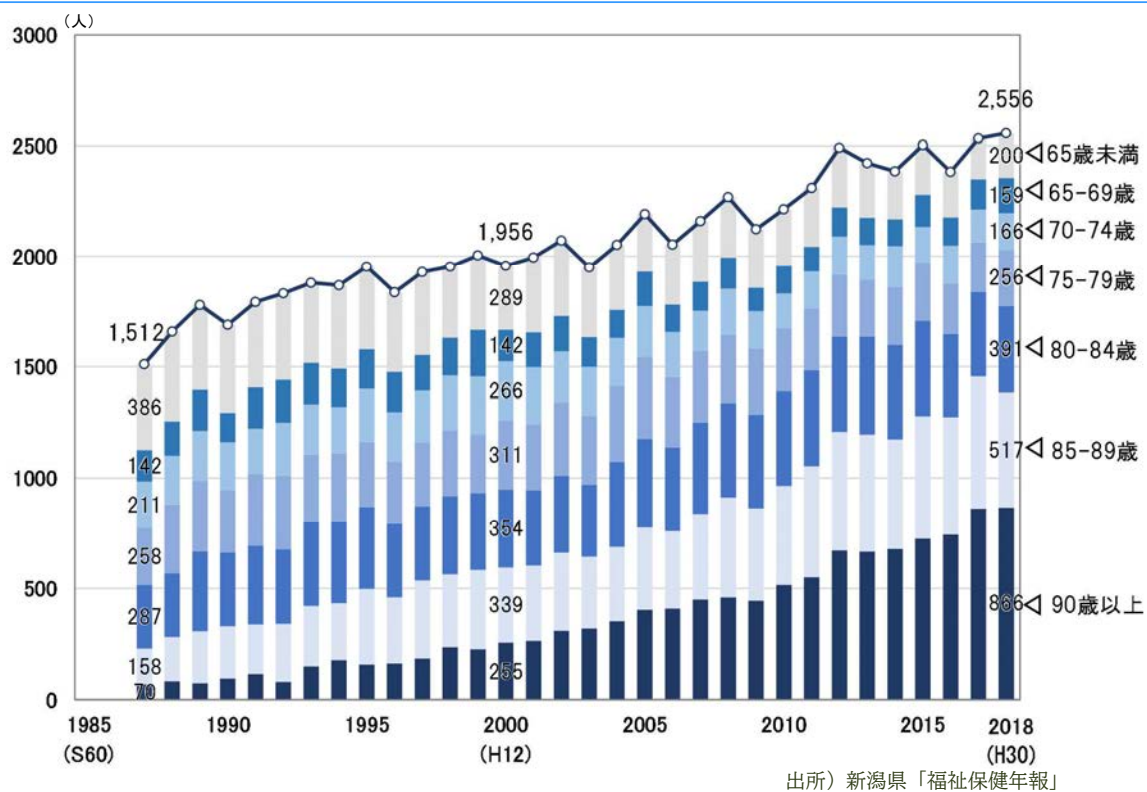
上越市の有配偶出生率の推移（1980～2018）



📌 90年代半ばごろから上昇。上越市と全国はほぼ同水準

2(4) 死亡の状況

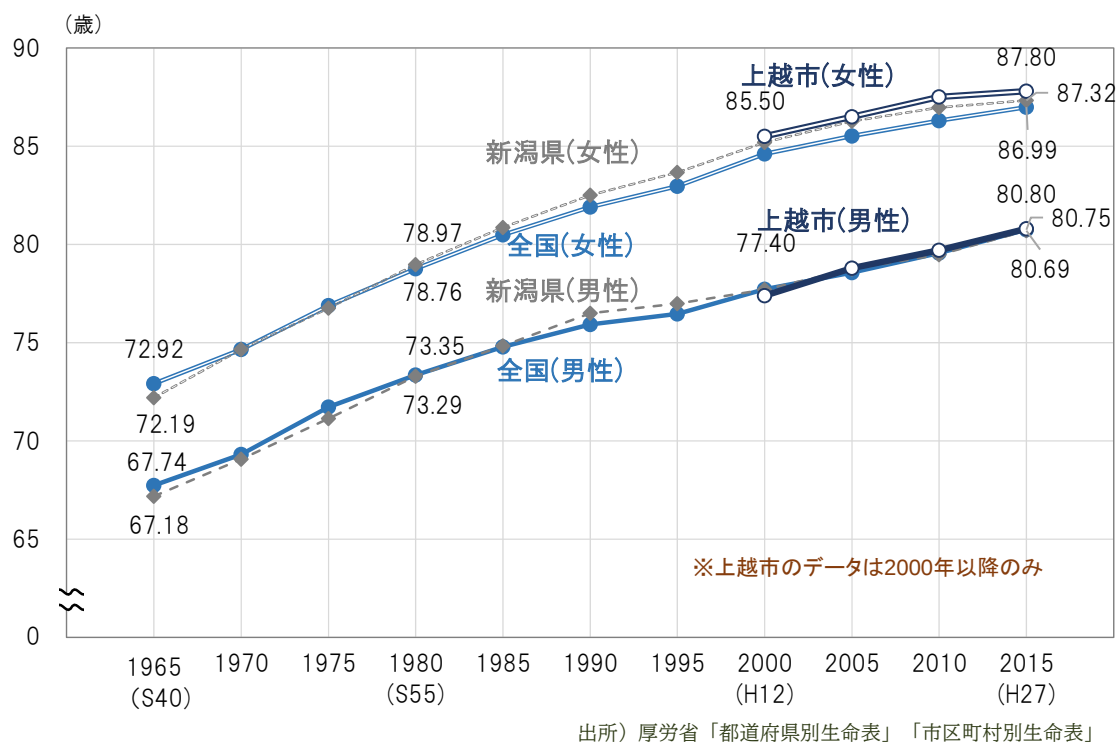
上越市の年齢別死亡数（1987～2018）



☞ 高齢になるほど死亡数が増加
高齢化に伴って全体の死亡数は増加傾向

43

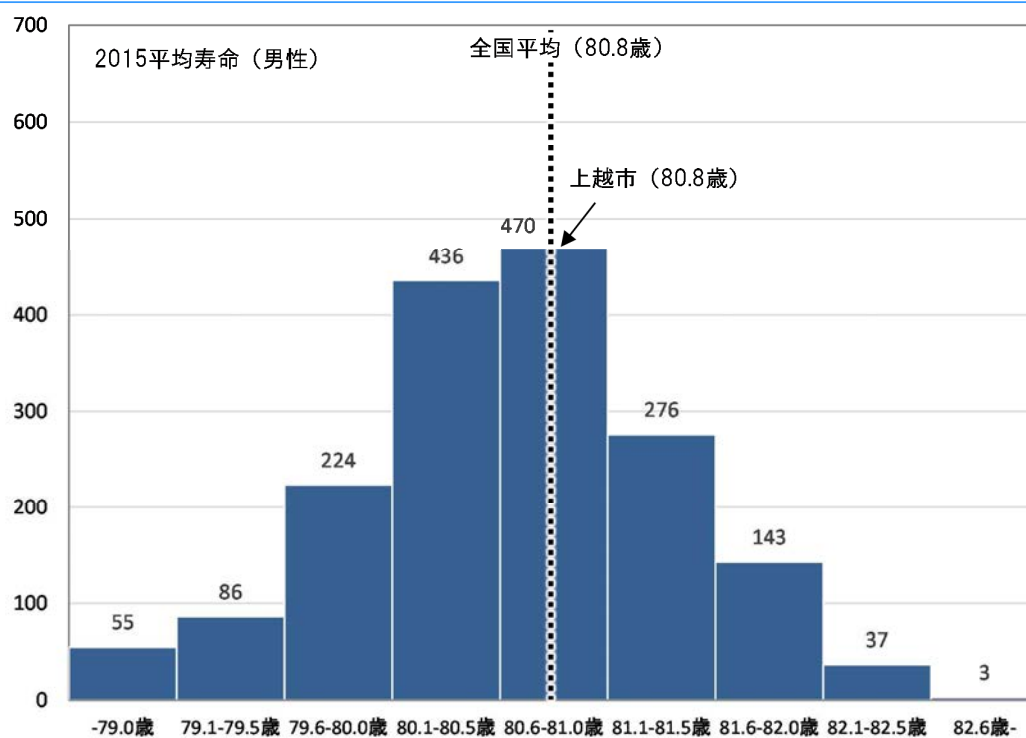
上越市の平均寿命（1965～2015）



☞ 右肩上がりに増加傾向
女性の平均寿命は全国より高い水準で推移

44

上越市の平均寿命（男性／2015）

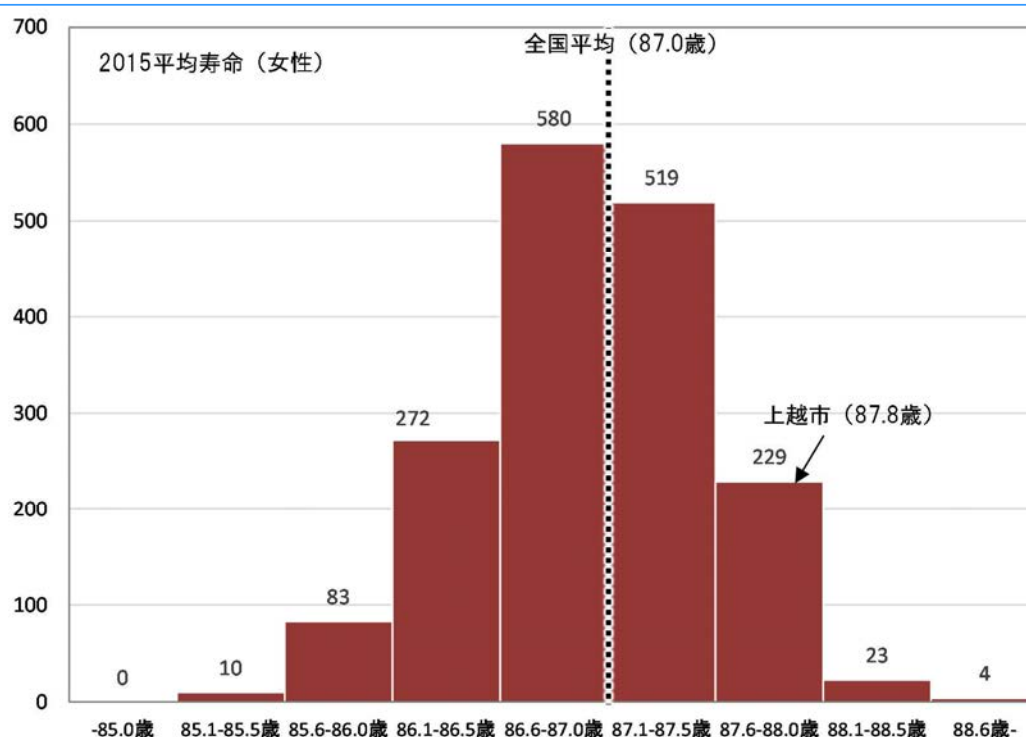


出所）厚労省「市区町村別生命表」

👉 全国平均と同水準

45

上越市の平均寿命（女性／2015）

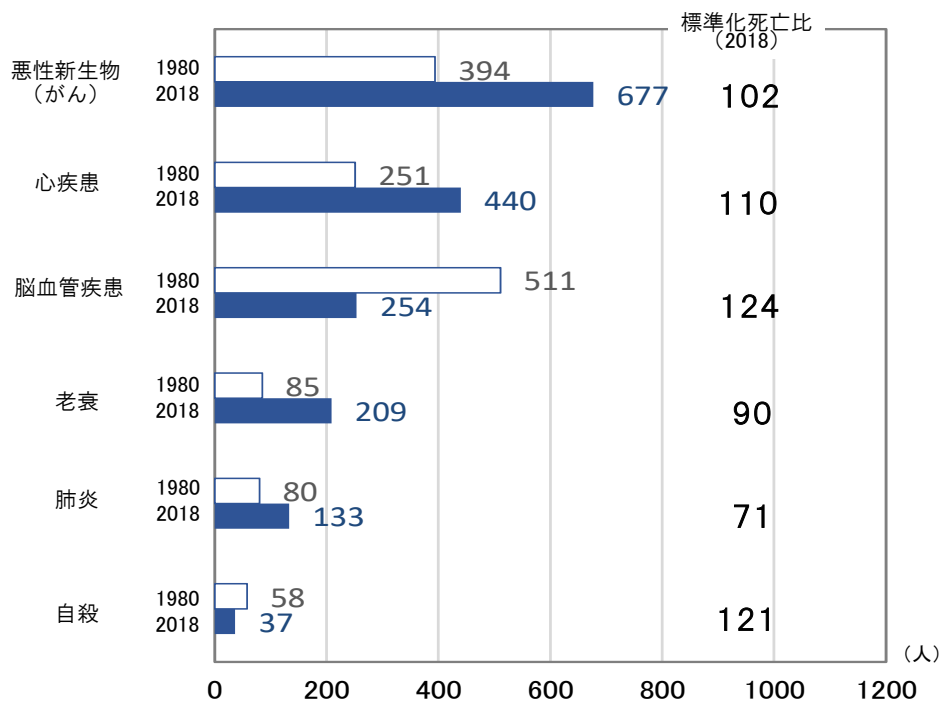


出所）厚労省「市区町村別生命表」

👉 全国的にも高い水準

46

上越市の死因別死亡数（1980・2018）



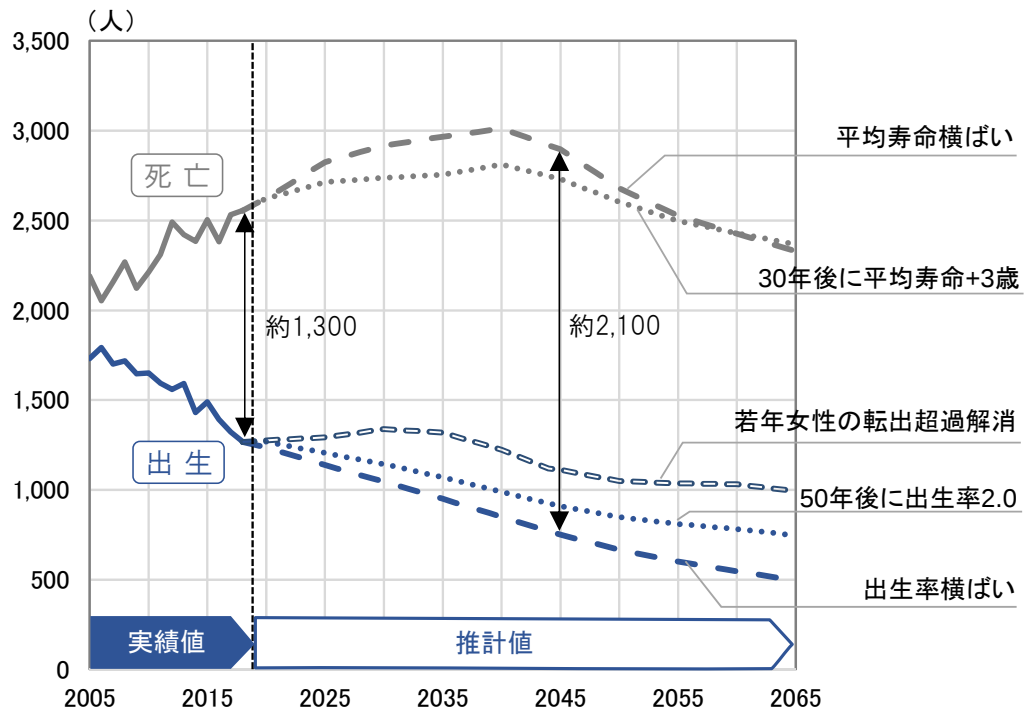
出所) 新潟県「福祉保健年報」

☞ がんの死亡数が大幅に増加
全国に比べ、脳血管疾患の死亡率が高い

3 将来推計人口



上越市の出生・死亡の将来推計（2005～2065推計）

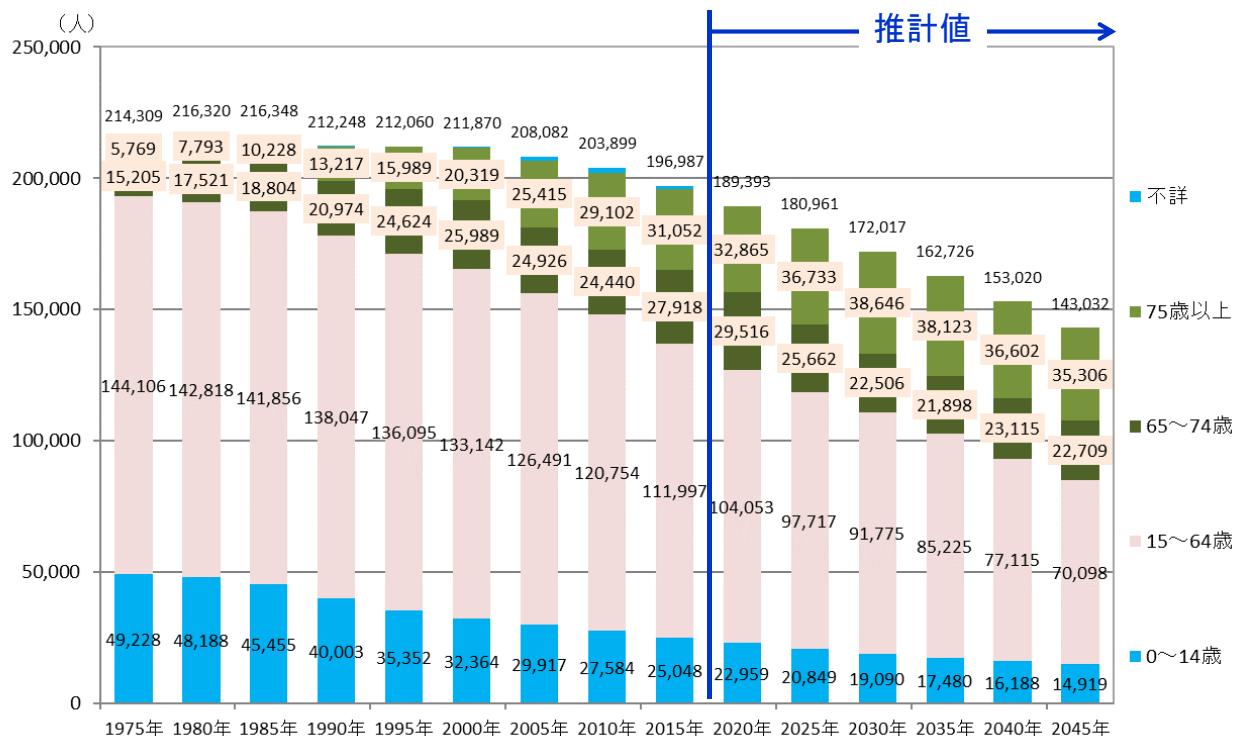


出所) 国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」などをもとに作成

出生数の減少傾向や死亡数の増加傾向は婚姻・出産の状況や平均寿命が多少変化しても大きく変わらないが転入出の状況が変われば変化することも

49

上越市の将来推計人口（1975～2045中位推計）

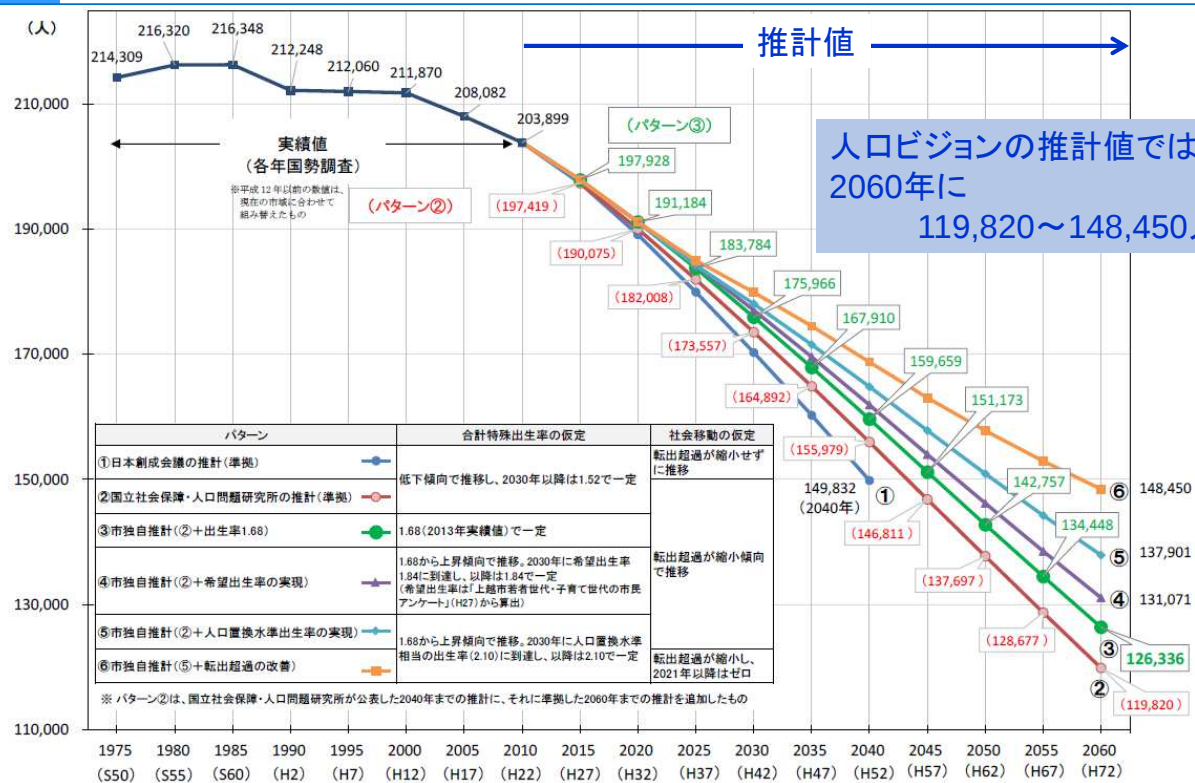


出所) 国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」

65歳以上人口は、2025年頃をピークに減少と予測
15歳未満人口は、今後30年間で4割減少

50

上越市の将来推計人口 (1975~2060推計)



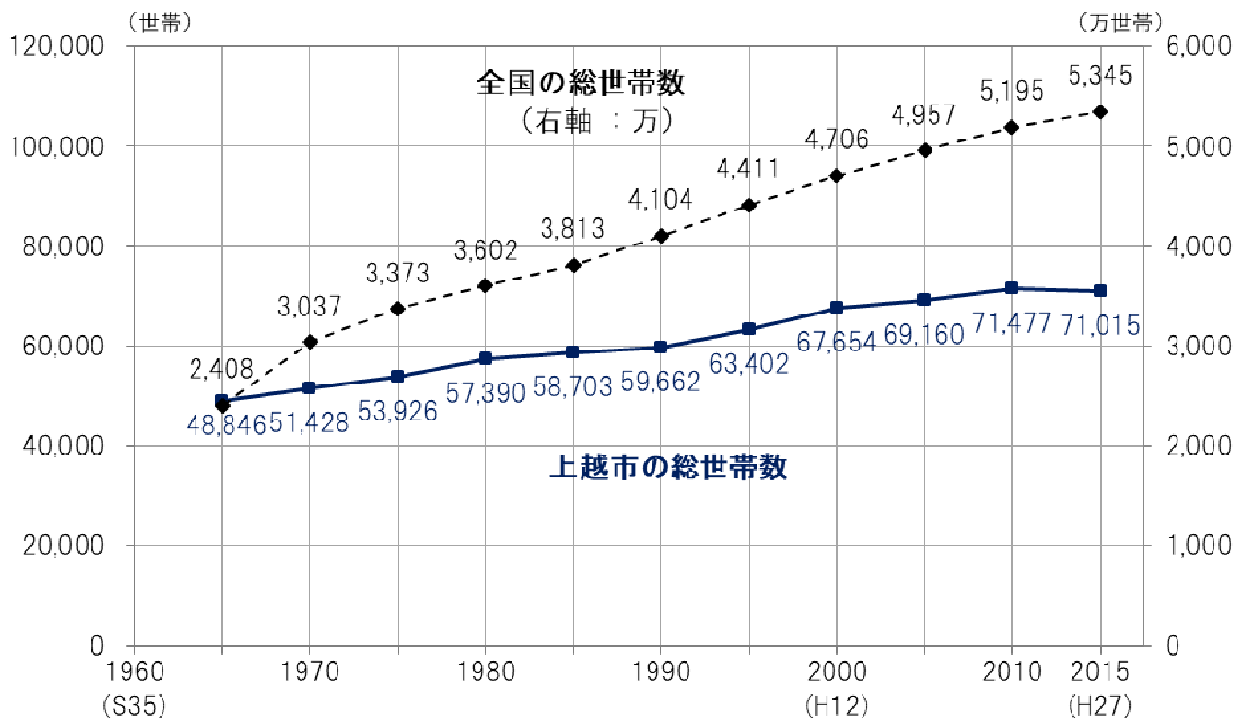
人口減少を覆すことは困難だが、50年後の人口は今後の動向によって大きく変わる

出所)上越市まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(2015年7月)

4 世帯数



上越市の総世帯数の推移 (1965~2015)

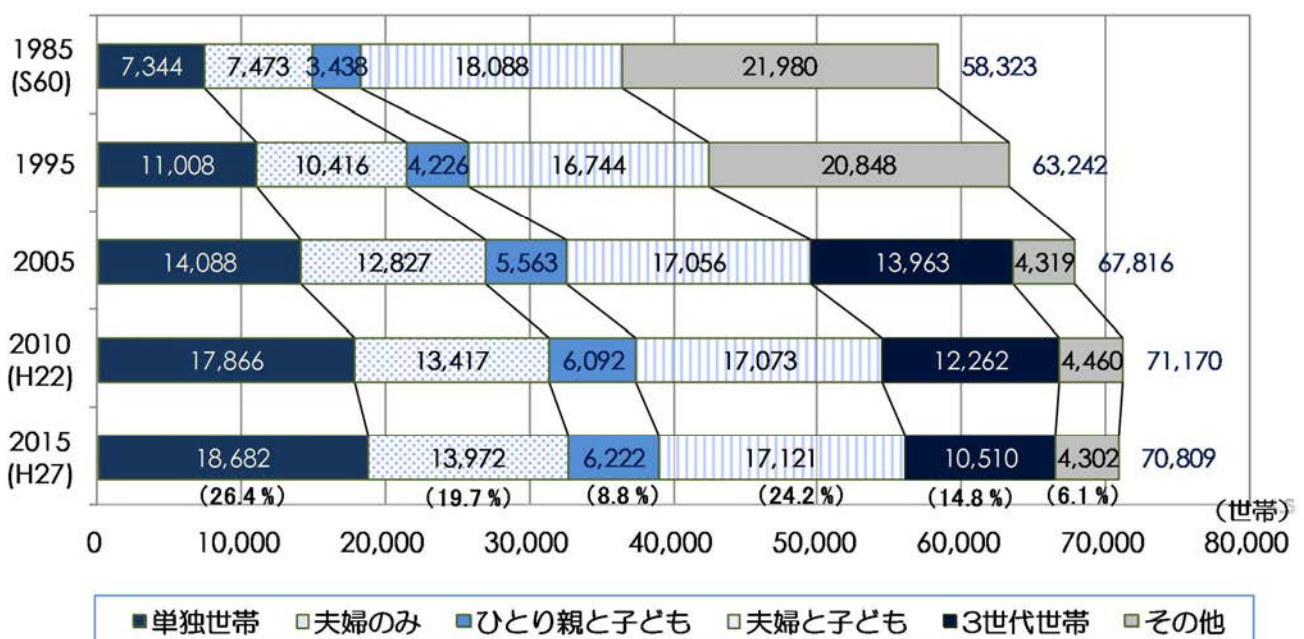


- ☞ 世帯数は、人口が減少中でも増加を続けてきた（要因は核家族化や未婚化等）が、2015年に初めて減少に転じた。

出所)総務省「国勢調査」

53

上越市の世帯構成の推移 (1985~2015)



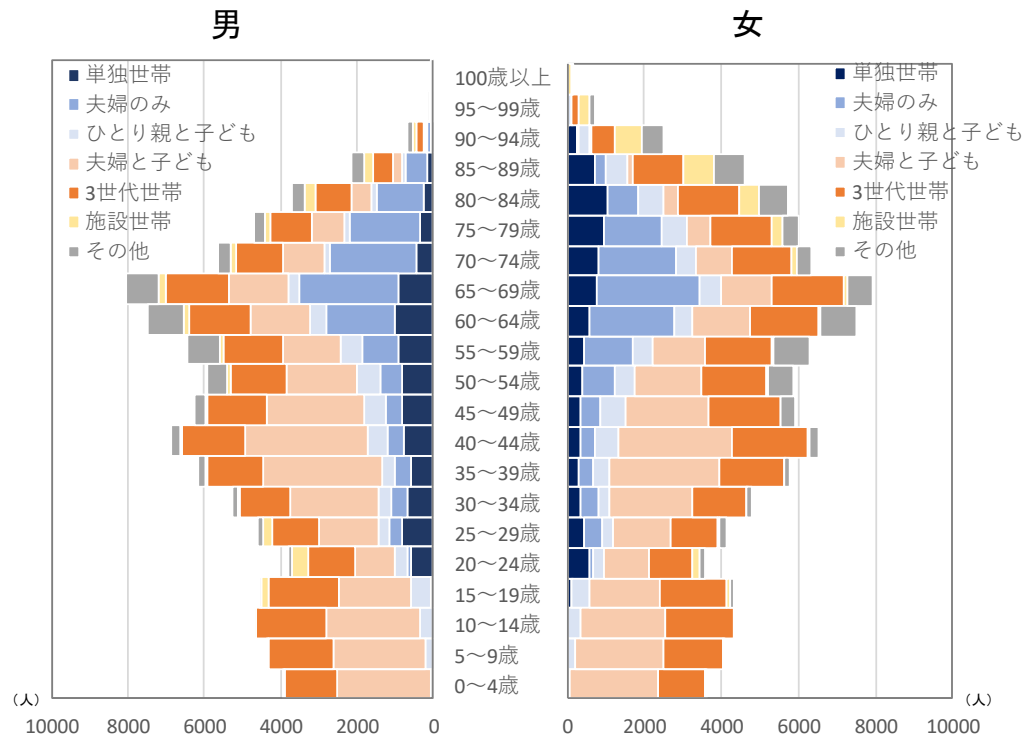
※ 一般世帯数のみ（施設等の世帯は含まない）。1985、95年の3世代世帯はその他に含まれる

出所)総務省「国勢調査」

- ☞ 30年前は、3世代世帯、夫婦と子ども世帯、それ以外がほぼ1/3ずつ
現在は、単身世帯が1/4を占めており、今後も増加の見込み

54

上越市の年齢別世帯構成の分布（2015）



出所)総務省「国勢調査」

50代前半までは「夫婦と子ども」世帯が多いが、60代以降は「夫婦のみ」世帯や「単独」世帯が増加

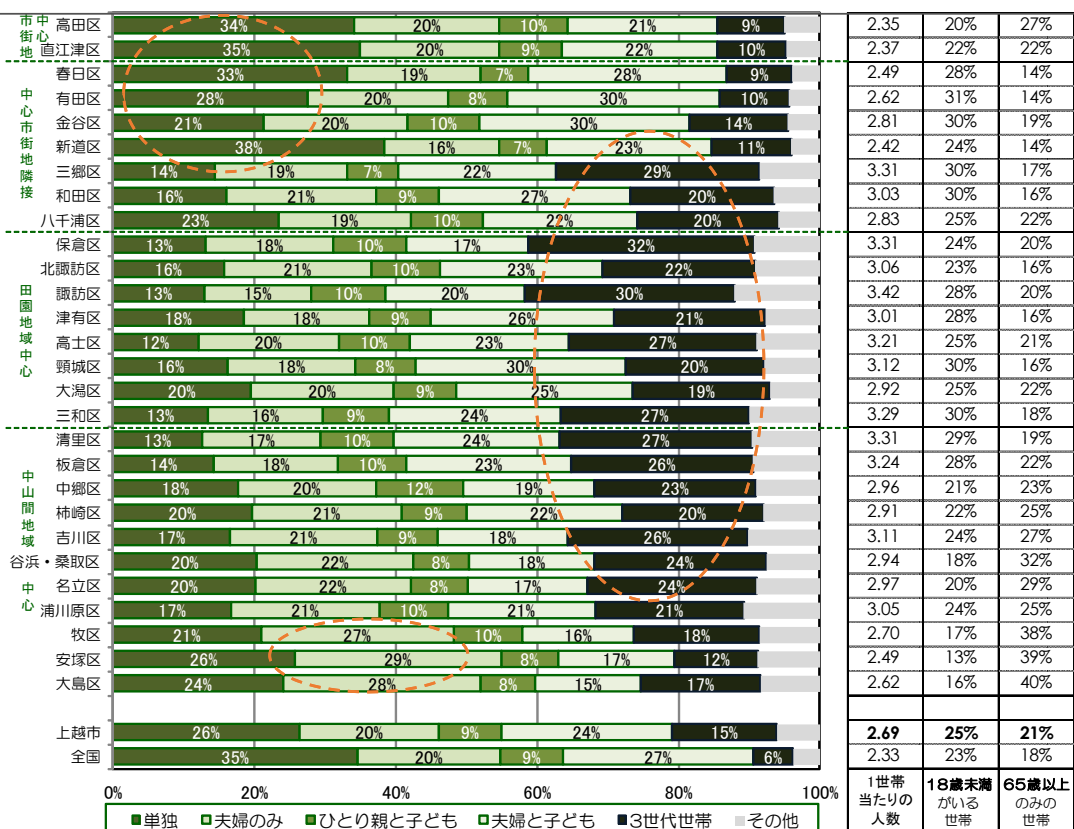
55

上越市内地区別の世帯構成（2015）

単身世帯が多い

3世代世帯が多い

夫婦のみ世帯 (高齢者のみ世帯) が多い



出所)総務省「国勢調査」をもとに作成

56

上越市の人口・世帯数の動向（まとめ）

1 上越市の人口について

- 上越市の人口は、長い間安定的もしくは微減傾向にあったが、①少子化の進行、②高齢化の進行(死亡数の増)、③転入を上回る転出の継続によって人口減少がさらに進む可能性が高い。
 - ① 少子化については、若年女性人口の減少と未婚率（独身者割合）の上昇が主な直接的要因である。
 - ② 高齢者数については、近い将来緩やかな減少に転ずる見込みだが、全体の人口が減少するため、高齢化率の増加は続く。
 - ③ 転入出については、近年では若年女性において大幅な転出超過となっており、①で挙げた女性人口減少に拍車がかかっている。
また、都市部に対する転出超過が長らく続いている。
- この人口減少を短期的に食い止めることは極めて困難だが、持続可能な当市の発展に向け、いずれかの時期に安定化させる方策は必要
- その際には、上述したような人口減少の内訳や要因を把握し、対象を見極めながら政策を立案していく必要がある。

57

上越市の人口・世帯数の動向（まとめ）

2 市内地区別の人口について

- 市内地区別にみた人口増減の動きは激しく、居住地の選好が、中心市街地や中山間地域から郊外に移りつつある。その結果、人口構成や世帯構成も地区によって大きく異なる。
- 市内の人口移動をみると、中心市街地や中山間地域から宅地開発の進む郊外等に転入する動きが多いほか、中山間地域から中心市街地へ転入する動きも若干みられる。
- 住宅開発等による特定地区の人口増加は一時的なものであり、持続的な発展を見据えた対策が必要となる。

3 上越市の世帯数について

- 上越市の世帯数は、人口減少が続く中でも増加を続けてきたが、国勢調査では2015年から初めて減少に転じた。
今後は空き家が増加するなど、人口減少の影響が時間遅れて波及していくことが見込まれる。
- 世帯構成の内訳をみると、3世代世帯が大きく減少し、単独世帯（1人暮らし）が大きく増加するなど、核家族化を越えて単身化が進んでおり、孤立化を防ぐ取組が求められる。

58